HONDA
The Power of Dreams

Hondaナビゲーションシステム　取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-079CV

オーディオ編

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　COMPACT disc ReWritable　COMPACT disc Recordable　DVD VIDEO　DVD VIDEO　MP3　WMA

MAGICGATE

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買いあげの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

※取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

安全に正しくお使いになるために

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

お知らせ
操作に関するお知らせです。

アドバイス
使いこなすためのアドバイスです。

お願い
お車のために守っていただきたいことです。

●製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

セクションタイトル
セクションタイトルを表示しています。

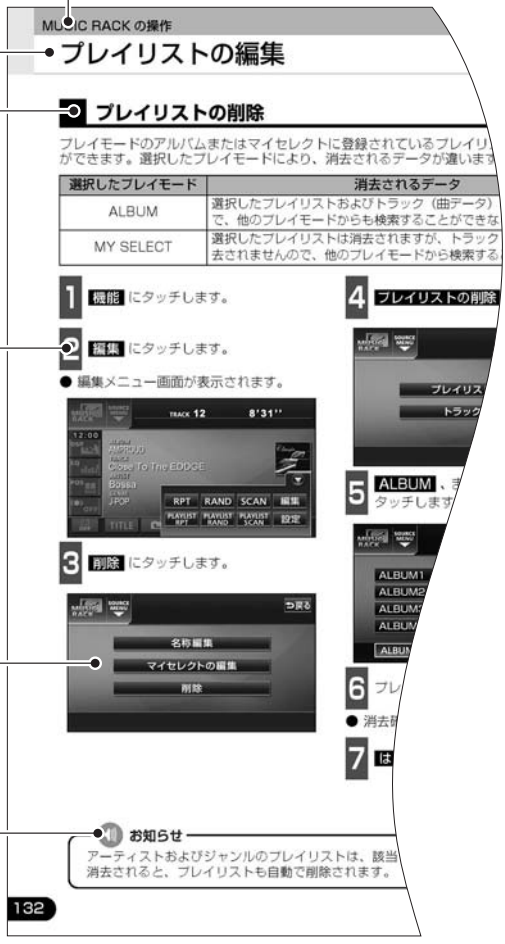
項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順
操作の内容です。
番号の順に操作してください。

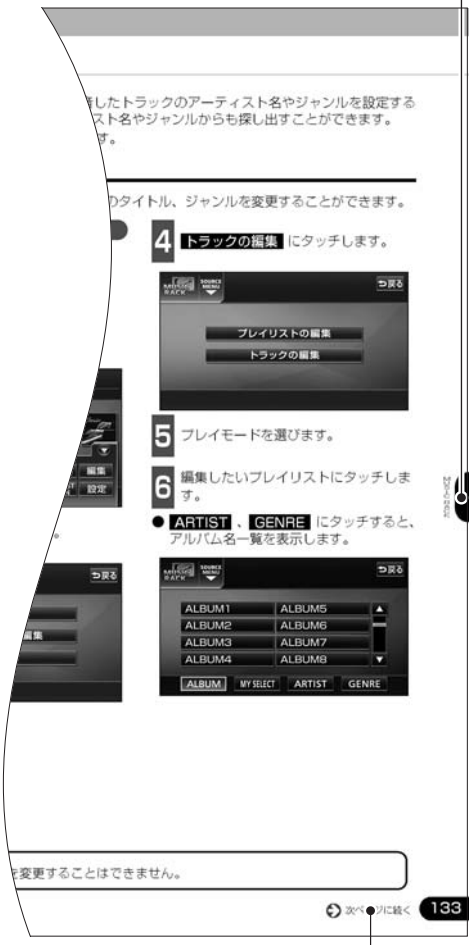
操作画面
操作する画面を表示しています。

お知らせ
操作に関連することなどを記述しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。



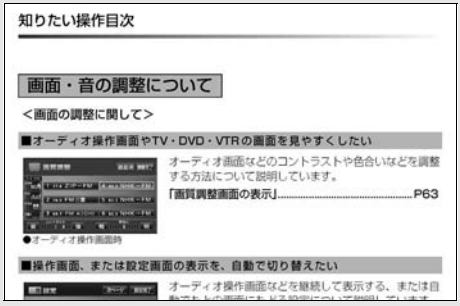
次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

タイトル目次

本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次



各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。
操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○（ AUDIO ・ REC など）でスイッチ名称を表示しています。
画面のタッチスイッチにタッチするときは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。
1つ前の画面にもどすときは、 戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）
操作は全ての機能が有効である場合の画面で説明しています。

タイトル目次

はじめに

特長 33
ご使用になる前に 35
ディスクについて 36
“メモリースティック”について 39
液晶パネルについて 40
TVについて 40

基本操作

ソースの切り替え方 41
ソースを切り替える 41
操作画面の表示 41
マルチチェンジャーを切り替える 42
各ソースの操作画面 43
音の調整 45
主音量の調整 45
操作音の設定 45
音質の調整 46
音質調整画面の表示 46
Circle Surround Ⅱの設定 47
DSP（音場）の設定 47
DSP（音場）モードを設定する 47
DSP（音場）の調整、記憶 48
DSP（音場）レベルを
リセットする 48
EQ（イコライザ）の調整 48
音質を設定する 48
EQ カーブの調整、記憶 49
EQカーブをリセットする 49
POS（ポジショニングセレクター）
の調整 50
音量バランスの調整 51
音質補正の設定
（ハーモナイザー） 52
LOUDNESSの設定 53
背景画の設定 54
壁紙の設定 54
壁紙を切り替える 54
画像データを書き換える 55
使用できる画像データについて 57
画像データを保存する 60
画像データを消去する 62
画面の調整・設定 63
画質調整画面の表示 63
ライト点灯時に
昼画表示にするには 64
画面を消すときは 64
画質の調整 65
優先画面の設定 66
タッチスイッチの設定 67
画面スイッチの
表示切り替えについて 67
機能スイッチの表示について 67
画面モード切り替え 68

ラジオの操作

ラジオの使い方 69
ラジオを聞く 69
聞きたい放送局を選ぶ 69
手動で選ぶ 69
自動で選ぶ 69
プリセットスイッチから選ぶ 69
放送局を記憶する 70
マニュアル（手動）で記憶する 70
AUTO.P（自動）で記憶する 70

AUTO.Pで記憶した
放送局を変更する 71
エリアスイッチについて 71
交通情報を表示する 71
周波数を記憶させる 71
局名スイッチについて 72
ラジオを止める 72
Click Radioについて 73
文字情報を表示する 73
文字情報を保存する 74
文字情報をメモリースティックへ
書き出す 74
文字情報を消去する 75

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方 76
CDを聞く 76
聞きたい曲を選ぶ 77
早送り・早戻しする 77
マルチチェンジャー内の全CD から
曲やCD を探す 77
聞きたい曲を探す 77
聞きたいCDを探す 77
同じ曲や同じCDを
繰り返し聞く 78
いま聞いている曲を
繰り返し再生する 78
いま聞いているCDを
繰り返し再生する 78
曲の順番をランダムに聞く 78
いま聞いているCDの中から
ランダムに聞く 78
マルチチェンジャー内から
ランダムに聞く 78
CDを止める 78

MP3/WMAプレーヤーの操作

MP3/WMAプレーヤーの
使い方 79
MP3/WMAを聞く 80
聞きたいフォルダを選ぶ 80
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 80
フォルダ・ファイル選択
スイッチから選ぶ 80
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 80
早送り・早戻しする 81
1つ上の階層を表示する 81
現在の階層を表示する 81
聞きたい音楽ファイルを探す 81
同じ音楽ファイルを
繰り返して聞く 81
順番をランダムに聞く 82
音楽ファイル情報などを
表示する 82
MP3/WMAを止める 82
MP3/WMAについて 83
再生可能なMP3ファイルの
規格について 83
再生可能なWMAファイルの
規格について 83
ID3タグ/WMAタグについて 83
使用できるメディアについて 84
使用できるディスクの
フォーマットについて 84
ファイル名について 86
CD-R、CD-RWについて 86
MP3/WMAの再生について 86
MP3/WMAの演奏時間
表示について 86
MP3/WMAファイル、フォルダの
リスト表示順番 86

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方 87
インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合 87
音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合 87
CD-R/RWに書き込む場合 87

“メモリースティック”プレーヤーの操作

“メモリースティック”プレーヤーの使い方 88
“メモリースティック”を聞く 88
聞きたい曲を選ぶ 88
早送り・早戻しする 89
聞きたい曲を探す 89
同じ曲を繰り返して聞く 89
曲の順番をランダムに聞く 89
"メモリースティック"をフォーマットする 90
“メモリースティック”を止める 91

MUSIC RACKの操作

MUSIC RACKをお使いになる前に ...92
MUSIC RACKの概要 92
MUSIC RACKの構成について 92
プレイモード・プレイリストについて 93
データベースについて 94
Gracenote CDDBについて 94
メディアクリックデータベース（MCDB）について 95
オートタイトリング機能について 96
デジタル録音 96
アナログ録音 96
データベース情報の表示について 97
データベースの更新について 98
Gracenote CDDBを更新する 98
メディアクリックのデータベースを更新する 99
タイトル情報の受信について 100
タイトル情報の受信について 100
タイトル情報の保存について 100
タイトル情報の受信 101
タイトル情報の表示 101
CDタイトルを表示する 101
CD情報インジケータの表示を設定する 102
新譜情報を表示する 103
新譜情報受信メッセージの表示を設定する 104
タイトル情報の更新 105
CDタイトルを更新する 105
新譜情報を更新する 105
ハードディスクの容量確認 106
操作の流れについて 107
MUSIC RACKへの録音 108
MUSIC RACKへの録音について 108
録音できるソースと録音方式について 108
録音についての注意 108
デジタル録音（4倍速録音）について 109
アナログ録音（等倍速録音）について 109
録音方式の設定 110
デジタル録音モードを設定する 110

オートトラックマークを
設定する 111
録音ビットレートを設定する 111
MUSIC RACKへの録音 112
CDを再生しながら自動で
録音する 113
CDの中からお好みのトラック（曲）
を録音する 114
マルチチェンジャー以外のソースから
録音する 115
MUSIC RACKの使い方 116
MUSIC RACKを聞く 116
表示・再生について 117
再生中のプレイリストの中で
聞きたいトラック（曲）
を選ぶ 117
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 117
トラック切り替えスイッチ
から選ぶ 117
プレイモード・プレイリストから
聞きたいトラック（曲）
を選ぶ 118
“AGENT”から選ぶ 120
早送り・早戻しする 121
聞きたいトラック
（曲）を探す 121
プレイリストの中から
聞きたい曲を探す 121
プレイモードの中から聞きたい
プレイリストを探す 121
聞きたいトラック（曲）を
繰り返し聞く 121
いま聞いている曲を
繰り返し再生する 121
いま聞いているプレイリストを
繰り返し再生する 121
トラック（曲）の順番を
ランダムに聞く 122
いま聞いているプレイリストの中から
ランダムに再生する 122
いま聞いているプレイモードの中から
ランダムに再生する 122
トラック（曲）情報などを
表示する 122
MUSIC JUKEを止める 122
プレイリストの編集 123
プレイリストの作成 123
プレイリスト名を入力する 123
作成したプレイリストに
トラックを追加する 125
プレイリストの名称入力 126
カナ、英字、数・記号の入力 127
リスト名称の編集 128
ジャケット写真の
表示を設定する 129
タイトル情報の再取得 129
プレイリストの並び替え 131
お好みに合わせて並び替える 131
作成した順番に並び替える 131
プレイリストの削除 132
トラックの編集 133
トラック情報の編集 133
トラック編集画面の呼び出し 133
トラックタイトルを変更する 134
アーティストを変更する 135
ジャンルを変更する 135
トラックの削除 136
TVの操作
TVの使い方 138
TVを見る 138
見たいチャンネルを選ぶ 138

手動で選ぶ 138
自動で選ぶ 139
プリセットスイッチから選ぶ 139
チャンネルを記憶する 139
マニュアル（手動）で記憶する 139
AUTO.P（自動）で記憶する 139
AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する 139
マルチチャンネルビューを表示する 140
TV設定画面の切り替え 141
エリアスイッチについて 141
局名スイッチについて 142
音声多重放送を切り替える 142
TVモードを終わる 143

DVD/VTRの操作

DVDプレーヤーをお使いになる前に 144
DVDビデオの特長 144
マルチ音声機能について 144
マルチアングル機能について 144
字幕表示機能について 145
ディスクについて 145
再生できるディスクの種類について 145
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 145
ディスクに表示されているマークについて 146
ディスクの構成について 146
操作の流れについて 147
DVDプレーヤーの使い方 148
DVDを見る 148
映像を操作する 149
映像を再生する 149
早送り・早戻しする 149
パネルスイッチから早送り・早戻しする 149
タッチスイッチから早送り・早戻しする 149
いま見ているチャプターを繰り返し再生する 149
映像を一時止める 149
映像を止める 150
ディスクメニューを操作する 150
ダイレクトタッチ操作画面から操作する 150
タッチスイッチから操作する 150
DVDを止める 151
見たい映像を探す 151
チャプターから探す 151
タイトル番号から探す 151
チャプター番号から探す 152
スイッチの表示を切り替える 153
タッチスイッチを消す 153
タッチスイッチの表示場所を切り替える 153
画面表示・音声の切り替え 153
アングルを切り替える 153
字幕言語を切り替える 154
音声言語を切り替える 154
DVDプレーヤーの設定 155
音声言語を設定する 156
コードを入力する 156
字幕言語を設定する 156
コードを入力する 156
メニュー言語を設定する 157
コードを入力する 157
マルチアングル(アングル選択マーク)の表示を設定する 157

視聴制限を設定する 158
映像出力を切り替える 159
言語コード一覧 160
VTRの使い方 161
VTRを見る 161
VTR設定画面の切り替え 161
VTRモードを終わる 161

ご参考に

知っておいていただきたいこと 162
こんなメッセージが表示されたときは 162
故障とお考えになる前に 167
用語説明 170
Gracenote CDDBのご利用について 173
FM de TITLEサービス放送局について 174

画面・音の調整について

＜画面の調整に関して＞

■オーディオ操作画面やTV・DVD・VTRの画面を見やすくしたい

●オーディオ操作画面時

オーディオ画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」.....P63

■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

オーディオ操作画面などを継続して表示する、または自動でもとの画面にもどる設定について説明しています。

「優先画面の設定」.....P66

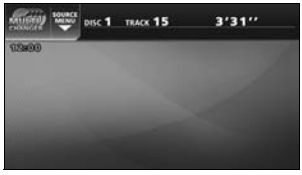
■画面を消したい

●オーディオ操作画面時

ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」.....P64

■操作画面などのタッチスイッチを消したい



タッチスイッチを表示させなくする操作や、機能スイッチの表示切り替えについて説明しています。

「タッチスイッチの設定」.....P67

■壁紙に使用できるデータについて知りたい

●プレビュー画面

本機の壁紙に使用できるデータ（仕様）について説明しています。

「使用できる画像データについて」.....P57

■壁紙を切り替えたい

壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙を切り替える」.....P54

■パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい

壁紙の書き換え（画像の書き換え）方法について説明しています。

「画像データを書き換える」.....P55

■パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい

画像データの保存方法について説明しています。

「画像データを保存する」.....P60

■HDDから画像データを削除したい

画像データの消去方法について説明しています。

「画像データを消去する」.....P62

■画面をワイドモードにしたい

●ワイドモード切り替え画面

TVやDVD、VTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」.....P68

＜音の調整に関して＞

■音量をかえたい

音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」.....P45

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

スイッチを押したときなどの操作音を設定する方法について説明しています。

「操作音の設定」.....P45

■音質をかえたい

車室内の音質を調整する方法について説明しています。

●マルチチャンネルを擬似的に創り出したい

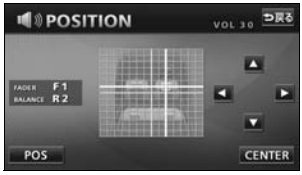
「Circle Surround Ⅱの設定」.....P47

●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」.....P47

●イコライザを調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」.....P48

●乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい
「POS（ポジショニングセレクター）の調整」.....P50



●前後左右の音量のバランスを調整したい
「音量バランスの調整」.....P51

●MP3/WMAの音質を調整したい
「音質補正の設定（ハーモナイザー）」.....P52

●小音量時などにメリハリのある音にしたい
「LOUDNESSの設定」.....P53

オーディオ関係

＜ラジオの使い方について＞

■ラジオを聞きたい

ラジオを受信する方法について説明しています。

「ラジオを聞く」.....P69

■放送局を探したい

放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」.....P69

■放送局を記憶させたい

プリセットスイッチ

選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「放送局を記憶する」.....P70

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」.....P71

■Click Radioを受信したい

Click Radioの文字情報を表示する・保存する・書き出す方法などについて説明しています。

「Click Radioについて」.....P73

＜マルチチェンジャーの使い方について＞

CDの操作

■CDを聞きたい

CDを再生する方法や、聞きたいCDに切り替える方法について説明しています。

「CDを聞く」.....P76

■聞きたい曲やCDを選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」.....P77

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法や、マルチチェンジャーに差し込まれている全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....P77

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法や、今聞いているCDを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P78

■いつもと違う順番で聞きたい

CDの中から任意に選曲し、再生する方法や、マルチチェンジャーの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているCDの中からランダムに聞く」..... P78

MP3/WMAの操作

■MP3/WMAを聞きたい

MP3/WMAを再生する方法について説明しています。

「MP3/WMAを聞く」..... P80

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

聞きたいフォルダや音楽ファイルを選択する方法について説明しています。

「聞きたいフォルダを選ぶ」..... P80
「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P80

■階層を戻りたい／今の階層がわからない

1つ上の階層を表示する方法や、再生中の階層を表示する方法について説明しています。

「1つ上の階層を表示する」.....P81
「現在の階層を表示する」.....P81

■聞きたい音楽ファイルを探したい

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを探す」.....P81

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

今聞いているフォルダを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」.....P81

■普段と違う順番で聞きたい

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「順番をランダムに聞く」.....P82

■ディスクに記録したファイル情報を表示したい

音楽ファイル情報を表示する方法について説明しています。

「音楽ファイル情報などを表示する」.....P82

■MP3/WMA について知りたい

本機で再生できるMP3/WMAのデータ（規格）について説明しています。

「MP3/WMAについて」.....P83

■MP3/WMA ファイルの作り方を知りたい

MP3/WMAファイルの一般的な作り方について説明しています。

「MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方」.....P87

DVDの操作

■DVDビデオを見たい

DVDを再生する方法について説明しています。

「DVDを見る」.....P148

■ディスクについて知りたい

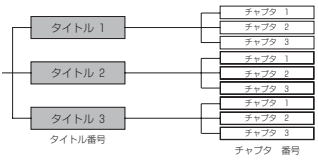
ディスクのマークや再生できるディスクの種類などについて説明しています。

●ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」.....P146

●再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」.....P145



●ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」.....P146

■ディスクに記録されているメニューを操作したい

DVDに記録されているディスクメニューを切り替える方法について説明しています。

「ディスクメニューを操作する」.....P150

■いま見ているチャプターを繰り返し再生したい

今見ているチャプターを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま見ているチャプターを繰り返し再生する」.....P149

■再生している映像を操作したい

映像を操作する方法について説明しています。

「映像を操作する」.....P149

■映像を選びたい・探したい

チャプターやタイトル番号、メニュー番号などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「チャプターから探す」.....P151

「タイトル番号から探す」.....P151

「チャプター番号から探す」.....P152

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

タッチスイッチの表示場所を切り替える方法について説明しています。

「スイッチの表示を切り替える」.....P153

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

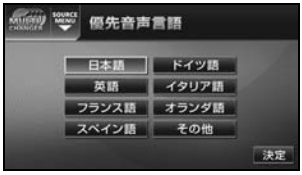
DVDに記録されている音声言語や字幕言語などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「アングルを切り替える」.....P153

「字幕言語を切り替える」.....P154

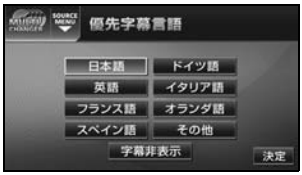
「音声言語を切り替える」.....P154

■プレーヤーの設定について知りたい

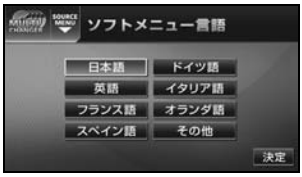


DVDプレーヤーの設定を切り替える方法について説明しています。

「音声言語を設定する」.....P156



「字幕言語を設定する」.....P156



「メニュー言語を設定する」.....P157

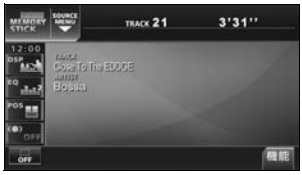
「マルチアングル（アングル選択マーク）の表示を設定する」.....P157

「視聴制限を設定する」.....P158

「映像出力を切り替える」.....P159

＜“メモリースティック”プレーヤーの使い方について＞

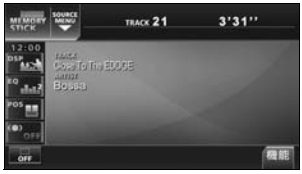
■“メモリースティック”を聞きたい



“メモリースティック”を再生する方法について説明しています。

「“メモリースティック”を聞く」.....P88

■聞きたい曲を選びたい



次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」.....P88

■聞きたい曲を探したい

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....P89

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返して聞く」.....P89

■いつもと違う順番で聞きたい

“メモリースティック”の中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」.....P89

MUSIC RACKについて

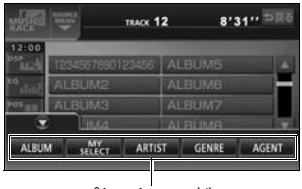
＜MUSIC RACKの使い方について＞

■MUSIC RACKを聞きたい

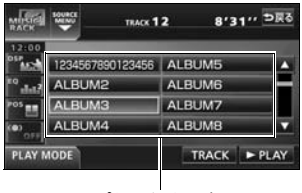
MUSIC RACKを再生する方法について説明しています。

「MUSIC RACKを聞く」.....P116

■MUSIC RACKについて知りたい



プレイモード



プレイリスト

トラック

MUSIC RACKについての説明やMUSIC RACKの構成について説明しています。

「MUSIC RACKの概要」.....P92
「MUSIC RACKの構成について」.....P92

■録音について知りたい

音楽や音声を録音するために知っておいていただきたいことについて説明しています。

「MUSIC RACKへの録音について」.....P108
「録音についての注意」.....P108

●録音できるソースについて知りたい
録音できるオーディオのソースについて説明しています。

「録音できるソースと録音方式について」.....P108

●録音の設定を切り替えたい
録音モードや録音ビットレートの切り替えについて説明しています。

「録音方式の設定」.....P110

■データベースについて知りたい

本機に収録されている音楽データ（Gracenote CDDB/メディアクリックデータベース）について説明しています。

「データベースについて」.....P94

■オートタイトリング機能について知りたい

録音された音楽にデータベースからタイトル情報を自動付与するしくみについて説明しています。

「オートタイトリング機能について」.....P96

■タイトルデータベースを更新したい

Gracenote CDDB/メディアクリックデータベースを更新する方法について説明しています。

「データベースの更新について」.....P98

■タイトル情報を受信したい

FM多重放送を使って、CDタイトルや新譜情報（ジャケット写真）を受信する方法について説明しています。

「タイトル情報の受信について」.....P100

受信したCDタイトルの表示方法について説明しています。

「CDタイトルを表示する」.....P101

CDタイトルを受信し、確認可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFについて説明しています。

「CD情報インジケータの表示を設定する」.....P102

受信した新譜情報の表示方法について説明しています。

「新譜情報を表示する」.....P103

新譜情報を受信し、確認可能になったことをお知らせするメッセージの表示ON/OFFについて説明しています。

「新譜情報受信メッセージの表示を設定する」.....P104

■ハードディスクの容量を表示したい

オーディオハードディスクの使用状況を確認する方法について説明しています。

「ハードディスクの容量確認」.....P106

■MUSIC JUKEに録音したい

音楽CDや、その他のモードから録音する方法について説明しています。

●CDアルバムを自動で録音したい

「CDを再生しながら自動で録音する」.....P113

●CDを再生しながら好きなときに録音したい

「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」.....P114

●他のオーディオソースから録音する

「マルチチェンジャー以外のソースから録音する」.....P115

■プレイリストを編集したい

●編集メニュー画面

オリジナルプレイリストを作成する方法や、リスト名称を編集する方法などについて説明しています。

●新しいプレイリストを作成したい

「プレイリストの作成」.....P123

●新しくアーティストをリストに追加したい

「アーティストを変更する」.....P135

●作成したプレイリストを編集したい

「リスト名称の編集」.....P128

●プレイリストを削除したい

「プレイリストの削除」.....P132

●プレイリスト・トラックを並び替えたい

「プレイリストの並び替え」.....P131

■トラック（曲）を編集したい

オリジナルプレイリストにトラック（曲）を追加登録する方法や、トラック情報（曲情報）を修正する方法などについて説明しています。

●作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい

「作成したプレイリストにトラックを追加する」.....P125

●録音したトラック（曲）を編集したい

「トラック情報の編集」.....P133

●トラック（曲）を削除したい

「トラックの削除」.....P136

●情報を更新したい

「タイトル情報の再取得」.....P129

■聞きたいトラック（曲）を選びたい

プレイモード/プレイリストの切り替えや、次のトラック（曲）に切り替える方法などについて説明しています。

「再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」.....P117

「プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ」.....P118

■ドライブの気分に合わせて、自由に音楽を再生したい

その日の気分やドライブしている状況に合わせて、トラック（曲）を再生する方法について説明しています。

「“AGENT”から選ぶ」.....P120

■聞きたいトラック（曲）を探したい

再生中のプレイリスト内、全トラック（曲）の始めの10秒間だけ再生する方法や、再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」.....P121
「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」.....P121

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

今聞いているトラック（曲）を繰り返し再生する方法や、今聞いているプレイリストを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」.....P121
「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」.....P121

■いつもと違う順番で聞きたい

プレイリストの中から任意に選曲し、再生する方法や、録音されている全トラック（曲）の中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」...P122
「いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する」...P122

TVについて

＜TVの使い方について＞

■TVを見たい

TVを受信する方法について説明しています。

「TVを見る」.....P138

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」.....P138

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「チャンネルを記憶する」.....P139

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」.....P141

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」.....P141

■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」.....P142

■同時に複数の番組を表示したい

プリセットされているチャンネルを最大８画面に分割して表示する方法について説明しています。

「マルチチャンネルビューを表示する」.....P140

VTRに関して

■VTRを使いたい

別売のVTRコードで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」.....P161

その他

＜わからなくてお困りのとき＞

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」.....P162

■故障かどうかわからない

本機が故障しているのかどうかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」.....P167

特長

最大4枚のディスクを一度に差し込めるマルチチェンジャー（42ページ）

最大4枚の音楽CD・MP3/WMA・DVDを差し込むことができるマルチチェンジャーを搭載しています。例えば、音楽CDを4枚差し込んでおけば、1枚目の再生が完了すると、自動で次のディスクに切り替わり、再生を開始します。

音楽の録音を可能にしたMUSIC RACK（ミュージックラック）（92ページ）

大容量の音楽ハードディスクを搭載し、各オーディオモードから流れる音楽や音声を、簡単に録音できます。また、音楽CDは、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種類別に検索できるほか、編集機能でプライベートアルバムを作成することもできます。

理想の音響空間を創り出す音質調整機能（46ページ）

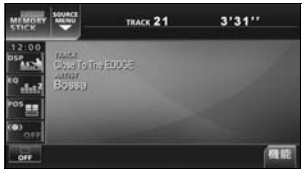
車が持つさまざまな音響空間や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。

アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー（79 ページ）

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。
また、MP3 よりも高い圧縮率の WMA データを再生することもできます。

パソコンなどからダウンロードした音楽を再生する"メモリースティック"プレーヤー（88ページ）

高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術、ATRAC3 に対応しています。パソコンや携帯電話などから"マジックゲートメモリースティック"にダウンロードした音楽データを再生することができます。



複数の番組を同時に表示するTV マルチチャンネルビュー機能（140ページ）

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。

特長

美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVD プレーヤー（144ページ）

高画質·高音質で記録されたDVD- Videoを再生します。（DVD は、映画1 本分に相当する高画質映像と、CD を上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。）

DVDメニューを直接操作できるダイレクトタッチ機能（150ページ）

DVDのディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

お好みの画像を壁紙として表示する壁紙機能（54ページ）

気分に合わせて4 種類の中から壁紙を切り替えて表示することができるほか、CD-R 、CD-RW 、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、壁紙として表示することもできます。

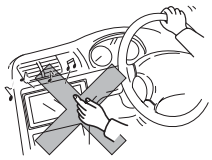
システムアップ

● **VTRコード**（161ページ）
別売のVTRコードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に

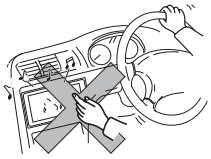
⚠注　意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



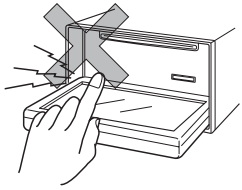
交通事故の原因となります。

走行中運転者はTVの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

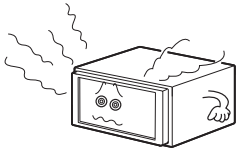
モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

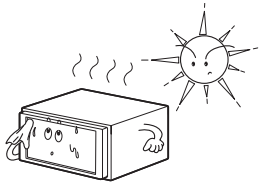
お願い

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



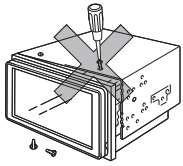
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



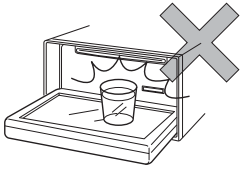
故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。



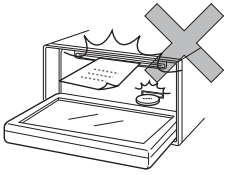
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。



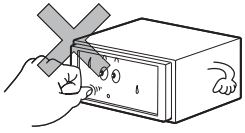
故障の原因となります。

差し込み口にはディスクおよび“メモリースティック”以外のものを絶対に入れないでください。

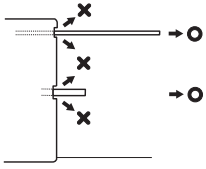


故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。



本機からディスクまたは“メモリースティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリースティック”を破損するおそれがあります。

ご使用になる前に

ディスクについて

お願い

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用 CD・映像用 DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD ビデオフォーマットに準じて記録されたDVD-R/RWディスクも再生することができます。

- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R （CD-Recordable ）、CD-RW （CD-ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていない CD-R 、CD-RW や UDF フォーマットで書き込みされたCD-R 、CD-RW は再生できません。（MP3/WMAは除く）
- DVD-R/RW（DVD-Recordable/ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD-R/RW は再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

お願い

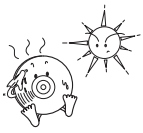
- スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。

- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

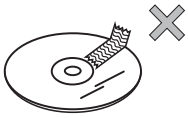
- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。
- 8cm DVDは再生できません。

ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

- 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

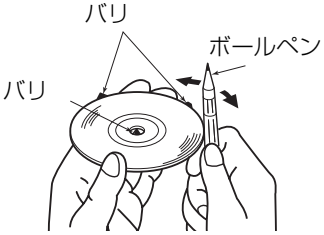
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

ご使用になる前に

お願い

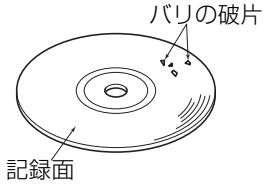
新しいディスクについて

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



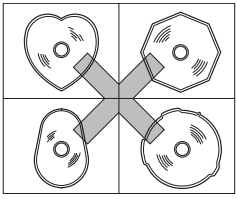
レンタルディスクについて

● ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



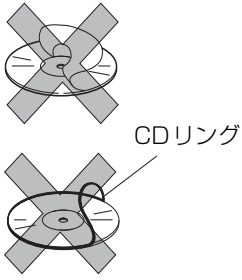
特殊形状のディスクについて

● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

● 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
● 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CDリング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。
● 8cmCD を差し込むときは同梱の 8cm アダプタをご使用ください。(詳しくは同梱の説明書をお読みください。)



“メモリースティック”について

お願い

- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “マジックゲートメモリースティック”の再生後およびHDD へデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- “メモリースティック”再生中、フォーマット中、HDD にデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

使用できる“メモリースティック”について

- 128MB までの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- “メモリースティックDuo ”を使用する場合は、“メモリースティックDuo”アダプターをご使用ください。
- “メモリースティックPRO ”には対応していません。
- 下記のマークの付いた“マジックゲートメモリースティック”は使用できます。

MAGICGATE

- 下記のマークの付いた“メモリースティック”は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。

“MagicGate Memory Stick ”（“マジックゲートメモリースティック”）MAGICGATE、
“Memory Stick ”（“メモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。
上記のマークの付いた“メモリースティック”でも製造メーカーにより読み込めない場合があります。

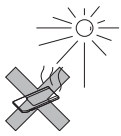
- “メモリースティック”のフォーマット（初期化）は、本機、または専用機器で行ってください。本機、または専用機器以外でフォーマットを行った場合、使用できません。

“メモリースティック”の取扱いについて

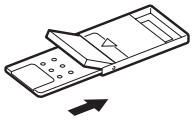
- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“メモリースティック”は使用しないでください。

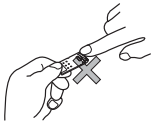
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック”が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



ご使用になる前に

液晶パネルについて

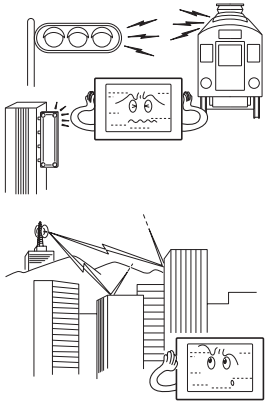
お知らせ

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて

お知らせ

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載 TV の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
  - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



ソースの切り替え方

ソースを切り替える

■パネルスイッチから切り替える

1 SOURCE を押します。

2 ソースメニューのタッチスイッチにタッチします。

● タッチしたソースがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。

●オンスクリーン画面

操作画面の表示

1 表示 を押します。

■タッチスイッチから切り替える

1 オーディオ操作画面、またはDVD/TV/VTR設定画面で、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

SOURCE MENU呼び出しスイッチ

2 ソースメニューのタッチスイッチにタッチします。

● タッチしたソースの操作画面が表示されます。

● ▲ にタッチすると、もとの画面にもどります。

ソースの切り替え方

マルチチェンジャーを切り替える

1 マルチチェンジャーの操作画面で、DISC CHANGE にタッチします。

● DVD を再生している場合は、画面にタッチすると DISC CHANGE が表示されます。

2 再生したいディスクスイッチにタッチします。

● 差し込まれているディスクにより表示内容が異なります。

音楽CD（CD-R/RW）の場合
CD：CD情報（CD-TEXT、該当するデータベース情報）

MP3/WMAの場合
MP3/WMA：ID3タグ、WMAタグ

DVDの場合
DVD：ディスクに収録されている情報

壁紙データの場合
DATA

お知らせ

- ディスクを切り替える際、ディスクの種類を判別するために、切り替えに時間がかかることがあります。
- すでにデジタル録音されている CD の場合、CD が黄色で表示されます。未録音の場合は橙色で表示されます。
- DATA にタッチしても壁紙モード、またはデータ更新モードに切り替わりません。

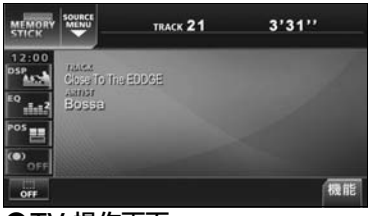
各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面

●MUSIC RACK 操作画面

●“メモリースティック”プレーヤー操作画面



●TV 操作画面

●FM操作画面

●マルチチェンジャー操作画面

音楽 CD を再生する場合

MP3/WMA を再生する場合

DVD ビデオを再生する場合

各ソースの操作画面

●VTR操作画面

「優先画面の設定」（66 ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20 秒以上（TV ・DVD 操作画面では約6 秒以上）操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

● 調整レベルは0～40です。
▲（上側）：音量UP（大きくなる）
▼（下側）：音量DOWN（小さくなる）

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 操作音設定の 1、2、3、4、OFF のいずれかにタッチします。

● OFF にタッチすると、操作音が解除（消音）になります。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- DVD プレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVD プレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVD プレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。DVD モードの前に使用していたソースで調整した音量レベルになります。

音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質調整画面の表示

音質の調整には、各ソースの操作画面から行うものと、情報画面から行うものがあります。

タッチスイッチ・項目	機　能	画面	ページ
Circle Surround Ⅱ	既存のスピーカーシステム（お車のスピーカーが４つの場合）で、簡単に疑似サラウンドを創り出すことができます。	操作画面	47
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	操作画面	47
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	操作画面	48
POS	人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。	操作画面	50
FADER BALANCE	前後、左右の音量バランスを調整することができます。	操作画面	51
LOUDNESS	小音量時に低・高音を強調することができます。	情報画面	53
ハーモナイザー	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	情報画面	52

■操作画面からの設定

1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD 設定画面で、音質調整のタッチスイッチにタッチします。

● ＴＶ･ＶＴＲ操作画面では **設定** 、ＤＶＤ操作画面では NEXT 、**設定** の順にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。

■情報画面からの設定

1 **情報** を押します。

2 **設定** 、**次ページ** の順にタッチします。

Circle Surround Ⅱの設定

Circle Surround Ⅱは、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現する機能です。ラジオやテレビなどの音声も適応します。ただし、AMラジオでは、サラウンド効果が反映されません。

- Circle Surround Ⅱは、DSPやPOSと同時に設定できません。
- Circle Surround Ⅱ、SRSと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Circle Surround Ⅱ技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

1 各オーディオの操作画面、またはTV・VTR・DVDの設定画面で、(●) OFF にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに下記のように切り替わります。

OFF→LOW→HI

- LOW：迫力・臨場感の効果が小さい
  HI：迫力・臨場感の効果が大きい
  OFF：機能を解除します。

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、 戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
CLUB	ディスコ、クラブ
THEATER	映画館・劇場
OFF	DSP OFF

音質の調整

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで画面左の ▲ 、▼ にタッチします。

● 調整レベルは－5～＋5の11段階です。

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 OFF を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。

EQ（イコライザ）の調整

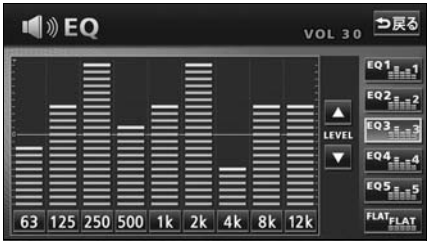
音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

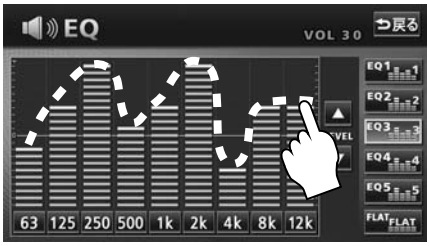


タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ

EQ カーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面にタッチします。



● 微調整するときは、調整したい周波数帯域にタッチする、または周波数スイッチにタッチし、画面左の ▲ 、▼ にタッチします。

2 記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 **FLAT** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● イコライザカーブが初期値にリセットされます。

お知らせ

微調整時に ▲ 、▼ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲ 、▼ にタッチしてください。

音質の調整

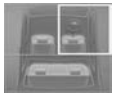
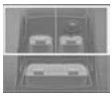
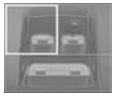
POS（ポジショニングセレクター）の調整

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 POS にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションに黄色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4 つのポジションに設定できます。
- OFF にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場

お知らせ

POS（ポジショニングセレクター）は、Circle Surround ⅡやFADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

音量バランスの調整

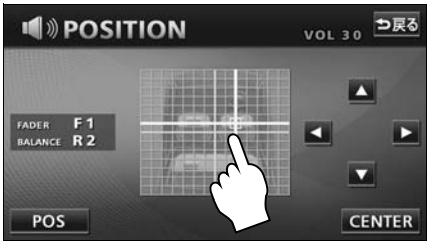
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 POS にタッチします。

2 FADER BALANCE にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、▲、▼、◀、または ▶ にタッチします。
- 調整レベルはF（フロント）側、R（リア）側、L（左）側、R（右）側各7段階です。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- CENTER にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。（設定値が0になります。）



お知らせ

- FADER BALANCE（音量バランス）は、POS（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。
- 微調整時に ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

音質の調整

音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 次ページ にタッチします。

4 ハーモナイザーの HI 、または LOW にタッチします。

- HI：補正効果が大きい
  LOW：補正効果が小さい
  OFF：補正なし
- 設定完了後、設定完了 にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

お知らせ

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽ディスクを再生しているときのみ効果があります。

LOUDNESSの設定

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 次ページ にタッチします。

4 LOUDNESSの ON 、または OFF にタッチします。

● 設定完了後、設定完了 にタッチすると、設定が記憶されます。

お知らせ

LOUDNESSは、Circle Surround Ⅱと同時に設定できません。

背景画の設定

オーディオ操作画面や情報画面をお好みの壁紙に切り替えることができます。

壁紙の設定

情報画面やオーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDやCD-R／RW、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、お気に入りの壁紙を背景画として表示することができます。

壁紙を切り替える

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 壁紙の 変更する にタッチします。

4 静止画の 1 ～ 5 、カスタム 、または動画の 1 ～ 5 のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- カスタム にタッチすると書き換えた画像が設定されます。（画像データを書き換えていない場合、カスタム はタッチできません。）
- 画像の書き換えは次ページを参照してください。

5 完了 にタッチします。

画像データを書き換える

HDDやCD-R／RW、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを壁紙として表示することができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 壁紙の 変更する にタッチします。

4 カスタムの変更 にタッチします。

5 MEMORY STICK 、CD 、または HDD にタッチします。

● CD にタッチした場合は、画像データが収録されているディスク（ DISC1 ～ DISC4 ）にタッチしてください。

お知らせ

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（**「画像データを保存する」** 60 ページ参照）
- CD- R／RWから書き換える場合は、記録したCD-R／RWをディスク差し込み口に差し込んでください。
- “メモリースティック”から書き換える場合は、記録した“メモリースティック”を、“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。
- MUSIC RACK に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。**「MUSIC RACKへの録音」**（112 ページ参照）
- 複数のデータがある場合は、▲ 、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

次ページに続く

背景画の設定

6 壁紙に設定するデータにタッチします。

7 決定 にタッチします。

- プレビュー にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 戻る にタッチすると 4 の画面にもどります。

●プレビュー画面

8 カスタム にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。

9 完了 にタッチします。

使用できる画像データについて

壁紙で使用できるデータは、下記の方法でメディアに書き込まれたものになります。

- デジタルカメラから“メモリースティック”に書き込まれた画像データ
- パソコンなどからCD-R/RWに書き込まれた画像データ
- パソコンなどから“メモリースティック”に書き込まれた画像データ

画像データは、下記の条件で書き込んでください。

■パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R／RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格（MODE1）
画像容量	1.5MB以下（1ファイル当たり）
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ（最上階層のみ）

※1 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_”(アンダースコア)、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。

■パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む場合

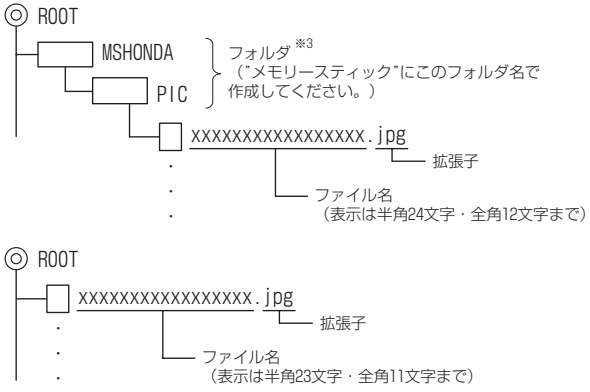
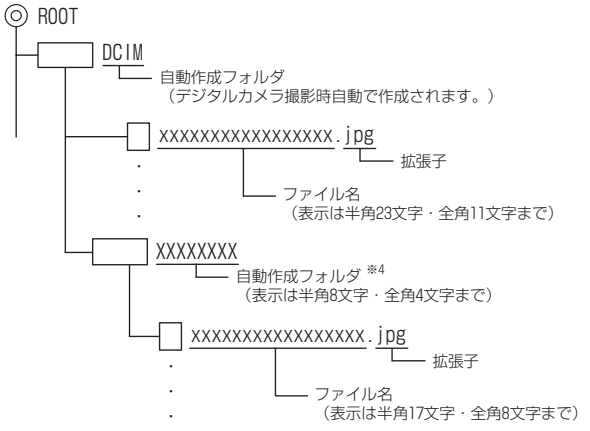
パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む際、あらかじめ、専用機器、または本機でお使いになる“メモリースティック”をフォーマットすることをお勧めします。本機での“メモリースティック”については**「“メモリースティック”をフォーマットする」**（90 ページ）を参照してください。

	“メモリースティック”
ディスクフォーマット	−
推奨画像容量	1.5MB以下（1ファイル当たり）
画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
書き込み方式	−
表示ファイル数（枚数）	100まで※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで※2

※1 “メモリースティック”にデジタルカメラの画像データとパソコンから書き込まれた画像データが存在する場合、あわせて100になります。

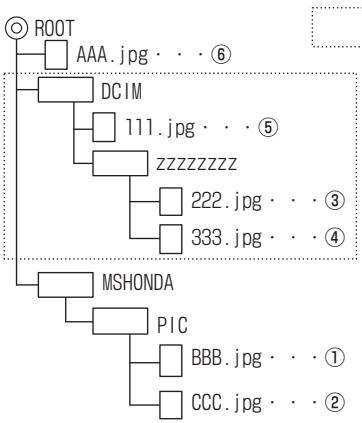
※2 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_”(アンダースコア)、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

背景画の設定

<table>
<tr><th></th><th>“メモリースティック”</th></tr>
<tr><td rowspan="2">取り込み可能なファイル構成
および文字数</td><td>＜パソコンで画像ファイルを書き込む場合＞
 
</td></tr>
<tr><td>＜デジタルカメラで画像ファイルを書き込む場合＞
 
</td></tr>
</table>

※3 パソコンから“メモリースティック”内にデータを保存する際は、「MSHONDA」、「PIC」フォルダを作成し、PICフォルダの中にデータを保存してください。

※4 撮影するデジタルカメラによりフォルダ名は異なります。

	“メモリースティック”
画面表示順位および表示内容	ファイル構成例  上記ファイル構成例の場合、表示順位および表示内容は次のようになります ① BBB.jpg 表示内容: PIC/BBB ② CCC.jpg 表示内容: PIC/CCC ③ 222.jpg 表示内容: D/zzzzzzzz/222 ④ 333.jpg 表示内容：D/zzzzzzzz/333 ⑤ 111.jpg 表示内容: DCIM/111 ⑥ AAA.jpg 表示内容：ROOT/AAA ※：拡張子.jpgは表示されません。

お知らせ

- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

背景画の設定

画像データを保存する

CD-R／RWや“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

3 データ管理 にタッチします。

4 HDDへ保存 にタッチします。

● データ保存画面が表示されます。

5 MEMORY STICK 、または CD にタッチします。

● CD にタッチした場合は、画像データが収録されているディスクにタッチしてください。

● タッチしたメディアに保存されている画像データを表示します。

お知らせ

- CD-R／RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R／RWをディスク差し込み口に差し込んでください。画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- “メモリースティック”から HDD に保存する場合は、記録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。音楽と画像データが混在する“メモリースティック”で、“メモリースティック”の音楽を再生中に画像データを保存する場合、音楽の再生が一時停止します。保存が完了してから音楽を再生してください。
- MUSIC RACK に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。**「MUSIC RACKへの録音」**（112 ページ参照）

6 保存したい画像データにタッチします。

7 保存 にタッチします。

- 全保存 にタッチすると“マジックゲートメモリースティック”、または“メモリースティック”、CDに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、戻る にタッチすると、直前の画面にもどります。

お知らせ

- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。

  - 上書き にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
  - 自動付与 にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
    （例）“AA1.jpg”がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の“AA1.jpg”には“01_AA1.jpg”と番号が自動で付けられ、保存されます。
  - キャンセル にタッチすると、保存を中止します。
  - 全保存 タッチ後に キャンセル にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。

- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。

  - 空きを作る にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。（**「画像データを消去する」**次ページ参照）
  - キャンセル にタッチすると、保存を中止します。

背景画の設定

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

3 データ管理 にタッチします。

4 HDDから消去 にタッチします。

● データ消去画面が表示されます。

5 画像データにタッチします。

6 消去 にタッチします。

● 全消去 にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。

7 YES にタッチします。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV 、DVD 、VTRなどの画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV 、DVD 、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・DVD・VTR画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

次ページに続く

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で **表示** を“ピッ”と音がするまで押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには、**現在地** を押します。

お知らせ

「優先画面の設定」（66 ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。（ **画面消** にタッチした状態にもどります。）

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

■色合い（TV・DVD・VTR画面時のみ）

1 緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

■色の濃さ（TV・DVD・VTR画面時のみ）

1 濃くするときは 濃 、淡くするときは 淡 にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

情報画面、オーディオ・MUSIC RACK ・TV ・DVD操作画面を表示させて、約20 秒以上操作しなかったとき、「自動解除」（もとの画面にもどる）、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 優先画面設定の **自動解除** 、または **継続表示** にタッチします。

● 各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

4 **設定完了** にタッチします。

お知らせ

優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。オーディオ操作画面を表示させる場合は、**表示** を押してください。また、ACC をOFF からON にしたときに、オーディオ画面を表示させる場合も、同様に **表示** を押してください。

タッチスイッチの設定

画面スイッチの表示切り替えについて

オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

1 オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面で、OFF にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。

- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。

機能スイッチの表示について

オーディオ操作画面やTV設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

1 機能 にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって違います。

- ▼ にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。

画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 DVD・TV・VTR設定画面で、**ワイドモード** にタッチします。

● ワイドモード切り替え画面になります。

● **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、NEXT、**設定** の順にタッチ

TV　：操作画面で、**設定**、**機能** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。

● ワイドモードを選択します。

●ワイドモード切り替え画面

■標準画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

■ワイド1画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

■ワイド2画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。

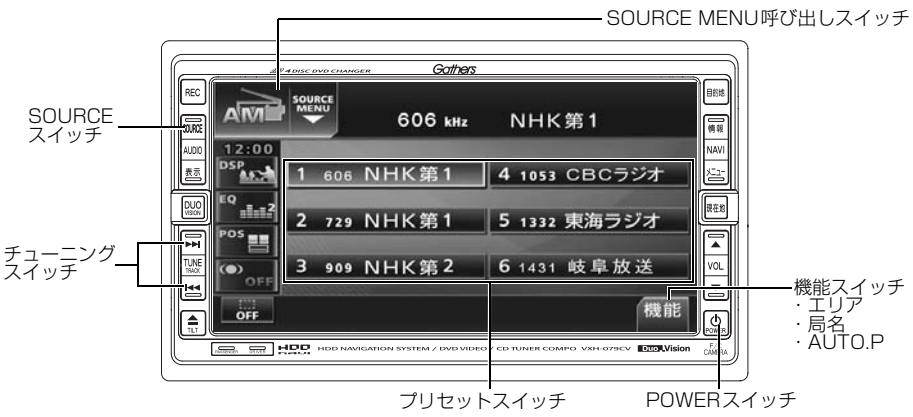
■ワイド3画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

● ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

⚠注　意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 AMラジオを受信するときは AM に、FMラジオを受信するときは FM にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：1 ステップずつ上がる
|◀◀（下側）：1 ステップずつ下がる
（1 ステップ：AM 9kHz、FM 0.1MHz ）

自動で選ぶ

1 ▶▶| 、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● 放送局の記憶は**「放送局を記憶する」**（次ページ）を参照してください。

お知らせ

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P.（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** 、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **機能** にタッチします。

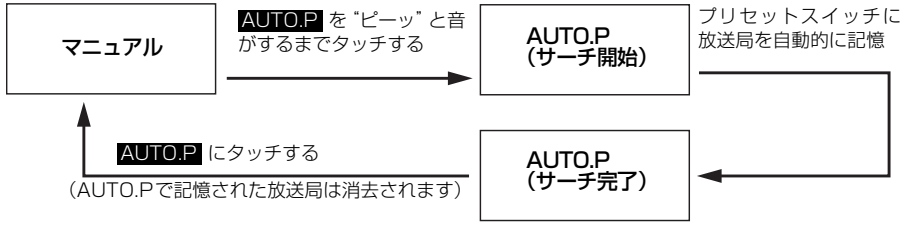
2 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し、自動的に選局を始めます。“ピピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.P について

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



お知らせ

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

交通情報を表示する

1 **SOURCE** を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 **((•))** にタッチします。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。

周波数を記憶させる

1 **AM** にタッチします。

2 通常の選局、または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 **SOURCE** を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

4 **((•))** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

お知らせ

- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定時は1620kHzにセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzにもどります。

ラジオの使い方

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオを止める

1 /POWER を押します。

- もう一度 /POWER を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。

Click Radioについて

本機は、JFN系列の放送局で放送されている曲名やアーティスト名などの文字情報を受信し、お聞きになっている音楽のタイトル情報などを表示することができます。また、タイトル情報をメモリースティックに書き出し、パソコンに読み込ませると、インターネットを通じて、気になっていた“あの曲”が収録されているCDアルバムなどさまざまな情報を得ることができます。
※クリックラジオは㈱電通の登録商標です。楽曲情報は㈱メロディーズアンドメモリーズグローバルのメロディーズ&メモリーズデータベースを使用しています。クリックラジオは㈱メディアクリックが行うサービスです。

文字情報を表示する

今、聞いているFMの放送局がClick Radioのサービスに対応している場合、画面に文字情報を表示することができます。

1 Click Radio にタッチします。

- Click Radioの文字情報を受信すると、画面上部に、“Click Radio”のインジケータが表示されます。

- 受信した内容が表示されます。表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。
- 戻る にタッチすると、直前の画面にもどります。

お知らせ

- Click Radioを受信していないときは、Click がトーンダウンします。
- 複数の情報がある場合、▲ 、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

ラジオの使い方

文字情報を保存する

受信した文字情報を本機のハードディスクへ保存します。

文字情報は最大30件まで保存することができます。

1 Click Radio にタッチします。

2 受信した内容が表示されているときに Click にタッチします。

● すでに、30件保存されているときに、Click にタッチすると、自動で、古い情報を消去し、新しい情報を保存します。

文字情報をメモリースティックへ書き出す

本機に保存されている文字情報を、“マジックゲートメモリースティック”、または“メモリースティック”に書き出すことができます。

1 “メモリースティック”を差し込みます。

2 Click Radio にタッチします。

3 書き出す情報にタッチします。

4 MEMORY STICKへ転送 にタッチします。

● 情報が“メモリースティック”へ書き出されます。

お知らせ

- すでに保存されている情報は、重複して保存することはできません。
- 複数の情報がある場合、▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。
- 音楽のタイトル情報を書き出した“メモリースティック”を、インターネットに接続されたパソコンに差し込み、(株) メディアクリックの情報を取得する場合、専用のアプリケーション(無料) が必要です。詳しくは、http://www.media-click.net をご覧ください。

文字情報を消去する

1 Click Radio にタッチします。

2 消去する情報にタッチします。

3 保存データの消去 に2秒以上タッチします。

● 情報が消去されます。

お知らせ

複数の情報がある場合は、▲、▼にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

CDプレーヤーの使い方

CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。（詳しくは**「取扱説明書クイックガイド編」-「ディスク・“メモリースティック”の出し入れ」**を参照してください。）

- 本機のMUSIC　RACKは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、CDを差し込み、自動で再生が始まると、同時に自動でMUSIC RACKへ録音を開始します。REC を1 秒以上押すと録音を停止します。
- 録音中は“●REC”および録音の進捗バーを表示します。**「MUSIC RACKへの録音」**（108 ページ参照）

1 CDが差し込まれているときに SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 MULTI CHANGER にタッチします。

3 DISC CHANGE にタッチします。

4 聞きたいCDにタッチします。

- 再生を始めます。

お知らせ

- デジタル録音停止中で、マルチチェンジャーに複数の音楽CDが差し込まれている場合、音楽CDのみを順に再生します。（MP3/WMAは除く）
  デジタル録音中は、再生している音楽CDを繰り返し再生します。
- CD-TEXTなど、タイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
  ジャケット写真を表示している場合の表示文字数は半角 28 文字、全角 14 文字、ジャケット写真を表示していない場合の表示文字数は半角32文字、全角16文字です。
  収録タイトル文字数の多いCD-TEXTでは表示できない場合があります。
- CD-R/RWのCD-TEXTは表示できない場合があります。
- 再生している音楽CDにタイトルや曲名などが収録されていなくても、本機のハードディスクに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- 録音中は、本機のデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。（CD-TEXTは表示できません）
- 再生している音楽 CD に該当するジャケット写真データが、本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。（但し表示が可能な期限内）

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶| （上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

早送り･早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ▶▶| （上側）：曲を進めるとき
|◀◀ （下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

マルチチェンジャー内の全CD から曲やCD を探す

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいCDを探す

1 機能 にタッチします。

2 DISC SCAN にタッチします。

● マルチチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 DISC SCAN にタッチすると、そのまま再生を続けます。

お知らせ

マルチチェンジャーに、音楽CDやCD-EXTRA、Mixed Mode CDが同時に差し込まれている場合、DISC SCAN は使用できません。音楽CDの間では可能です。

CD プレーヤーの使い方

同じ曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 DISC RPT にタッチします。

● 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 DISC RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

マルチチェンジャー内からランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 DISC RAND にタッチします。

● 一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度 DISC RAND にタッチすると解除されます。

● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 ⏻/POWER を押します。

● もう一度 ⏻/POWER を押すと再生が再開されます。

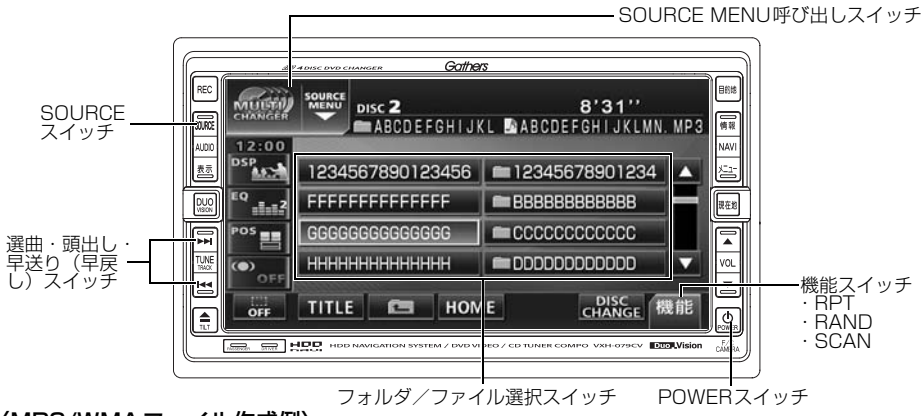
● MUSIC RACK録音中に、CDをOFFにしても録音は継続されます。
録音を停止する場合は、REC を1秒以上押します。

お知らせ

マルチチェンジャーに、音楽CDやCD-EXTRA、Mixed Mode CDが同時に差し込まれている場合、DISC RPT および DISC RAND は使用できません。音楽CDの間では可能です。

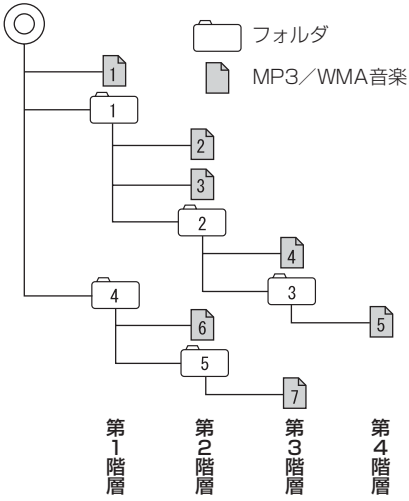
MP3/WMAプレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3/WMAファイル作成例〉

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



お知らせ

- マルチチェンジャーに複数のMP3/WMAが差し込まれている場合、MP3/WMAディスクのみを順に再生します。
- 音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。（**「音楽ファイル情報などを表示する」**82 ページ参照）
- DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムの WMA ファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMA ファイルは再生できません。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAを聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-Rを差し込むと、再生を始めます。

1 CD-Rが差し込まれているときに SOURCE を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 MULTI CHANGER にタッチします。

3 DISC CHANGE にタッチします。

4 聞きたい音楽ディスクにタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ名にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

1 音楽ファイル名にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、▲ ▼ にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません。）

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

- ▶▶| （上側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
  |◀◀ （下側）：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

お知らせ

- マルチチェンジャーに複数の MP3/WMA ファイルが差し込まれている場合、再生中のファイルの再生が終了すると、自動で次のファイルの再生を開始します。
- MP3/WMAファイル作成例については前ページを参照してください。
  画面に “2”、“3”、“2” の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“1”、“1”、“4” の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで長く押します。

● ▶▶| （上側）：曲を進めるとき
|◀◀ （下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり､スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 📁 にタッチします。

● 表示している1つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 HOME にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。
もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

MP3／WMA

お知らせ

MP3/WMAファイル作成例については79 ページを参照してください。
第3 階層の 4 を再生中、画面に “2”、“3”、“2” の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに HOME にタッチすると、“4”、“3” の第 3 階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり、TITLE OFF にタッチするとフォルダ／ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMAを止める

1 ⏻/POWER を押します。

- もう一度 ⏻/POWER を押すと再生が再開されます。

お知らせ

再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30 文字、全角文字では最大15 文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。

MP3/WMAについて

MP3 （MPEG Audio レイヤ３ ）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約１／10 のサイズに圧縮することができます。
WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。
本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格　：MPEG Audio レイヤ３（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数：44.1、48 （kHz)
- 対応ビットレート　：64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 （kbps）
  ※VBRに対応しています。
  ※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード　：モノラル、ステレオ、ジョイント、デュアル

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格　：WMA Ver.7、8、9
- 対応サンプリング周波数：44.1、48 （kHz)
- 対応ビットレート　：48、64、80、96、128、160、192（kbps）
  ※VBRに対応しています。（48～192kbps）
  ※可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMA ファイルには、ID3 タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

■ID3 タグ/WMA タグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	Ver1.02.02
入力できる項目	TITLE	半角３０文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode（UTF-16 BE BOMなし））

MP3/WMA プレーヤーの使い方

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R およびCD-RW です。
なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。
一部のCD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。
なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2（Form1）
- ファイルフォーマット

■ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

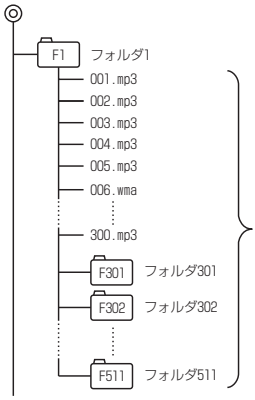
■拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角128文字	半角64文字※1
ファイル名（最大文字数）	半角128文字※2	半角64文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（unicode）

※1 区切り文字“.”含む
※2 区切り文字“.”＋拡張子含む

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数：511個
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：149個

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



お知らせ

音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。（**「音楽ファイル情報などを表示する」**82ページ参照）

MP3/WMA プレーヤーの使い方

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子"mp3"/"wma"が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、"mp3"/"wma"の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名"mp3"/"wma"は大文字でも小文字でもかまいません。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません)。
- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください)

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで "MP3/WMAデータを読み込み中です" が表示されます。(最大10 分程度) なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示

⚠注　意

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CD を入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/RWに書き込む場合

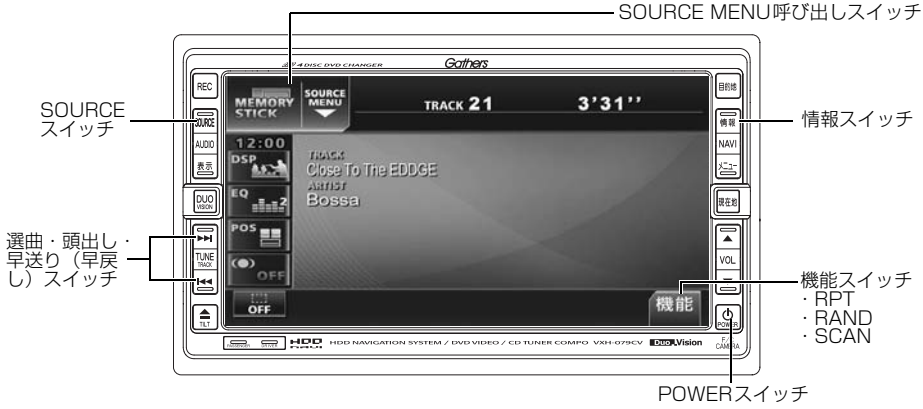
MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD- R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル1 またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。

お知らせ

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

“メモリースティック”プレーヤーの使い方

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“マジックゲートメモリースティック”に記録された音楽データを再生することができます。



“メモリースティック”を聞く

“メモリースティック”差し込み口に“マジックゲートメモリースティック”を差し込み、CLOSE にタッチします。

1 “マジックゲートメモリースティック”が差し込まれているときに SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 MEMORY STICK にタッチします。

● 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶| （上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

お知らせ

- 本機は、“マジックゲートメモリースティック”（白色および紺色）に記録されている音楽データのみ再生することができます。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- “マジックゲートメモリースティック”を差し込むと、約4秒間、データ確認のため操作できなくなります。
- “マジックゲートメモリースティック”にアーティスト名や曲名（トラック名称）などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字まで表示できます。
- “マジックゲートメモリースティック”に音楽データを記録するには、“マジックゲートメモリースティック”関連商品を購入すると付属されている専用ソフトが必要です。
- 再生可能回数、または期限が制限されている場合は、画面に回数および期限を表示します。
- 再生可能回数、または期限が切れた場合は、メッセージを表示します。（162 ページ参照）

早送り･早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ▶▶| （上側）：曲を進めるとき
|◀◀ （下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので､同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

“メモリースティック” プレーヤーの使い方

"メモリースティック"をフォーマットする

本機で、"マジックゲートメモリースティック"、"メモリースティック"をフォーマット（初期化）することができます。

1 AUDIOがOFFになっていることを確認します。

2 フォーマットする"メモリースティック"を差し込みます。

3 **情報** を押します。

4 **次ページ ▶** にタッチします。

5 **データ管理** にタッチします。

6 **MEMORY STICKフォーマット** にタッチします。

● フォーマット確認画面が表示されます。

お知らせ

- “メモリースティック” をフォーマットするときは、必ずオーディオを OFF にしてください。
- “メモリースティック” プレーヤー再生中にフォーマットすると、音楽データは消去されます。また、フォーマット中にキャンセルしても” メモリースティック” 内のデータは壊れている可能性があります。
- “メモリースティック” をフォーマット中は他の操作ができません。
- “メモリースティック” をフォーマット中はオートマチックチェンジレバー（シフトレバー）をRレンジ（R位置）に操作してもリアカメラの映像に切り替わりません。
- MUSIC RACK 録音中の場合はフォーマットをすることができません。録音を中止するか、録音が完了してからフォーマットをしてください。

7 OK にタッチします。

- フォーマット画面が表示されます。
- キャンセル にタッチするとフォーマットを中止します。
- フォーマット完了後、もとの画面にもどります。

“メモリースティック”を止める

1 /POWER を押します。

- もう一度 /POWER を押すと再生が再開されます。

お知らせ

MUSIC RACK に録音中の場合は、フォーマットをすることができません。録音を中止するか、録音が完了してからフォーマットをしてください。

MUSIC RACKをお使いになる前に

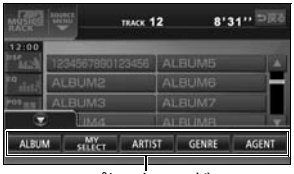
MUSIC RACKの概要

MUSIC RACKはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、マルチチェンジャーからCDアルバムを録音すると、「Gracenote CDDB® 音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音※と、マルチチェンジャー以外のオーディオモードから録音し、録音したオーディオモードなどにプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

※…該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

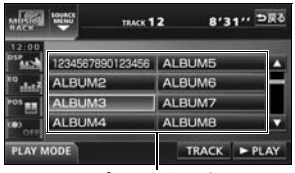
MUSIC RACKの構成について

MUSIC RACKは、録音された音楽・音声を5種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード

録音した音楽（トラック）を5つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。

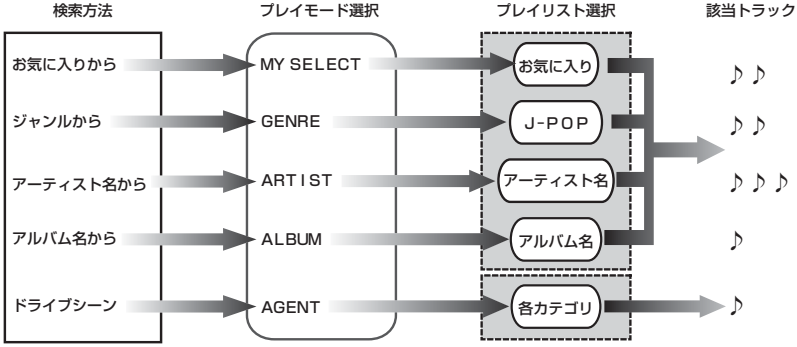


プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。

トラック

録音した音楽、音声データのタイトル



プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC RACKに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
ALBUM	● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合はオーディオモード／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
MY SELECT	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
ARTIST	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
GENRE	● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することができます。
AGENT	● プレイリストはありません。 ● オートタイトリング機能で、録音された曲のカテゴリ（イメージ・年代・シーン・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。

お知らせ

MUSIC RACKには、最大999個※のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大 99 曲※までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ3000曲※です。

※…録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

MUSIC RACK をお使いになる前に

データベースについて

本機は、内蔵のマルチチェンジャーからCDアルバム（アルバム/シングルディスク）をMUSIC RACKにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDB、およびメディアクリックのデータベース情報を使用しています。

Gracenote CDDBについて

Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote."
CD and music-related data from Gracenote CDDB®
Music Recognition Service © 2000, 2001, 2002 Gracenote.
Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote.
米国特許番号　5,987,525, 6,061,680, 6,154,773 その他特許取得済みまたは申請中。

CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。
音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。

お知らせ

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote CDDB® 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

メディアクリックデータベース（MCDB）について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDB

- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDBサービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
  この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
  メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。
  本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2005年12月時点のデータです。

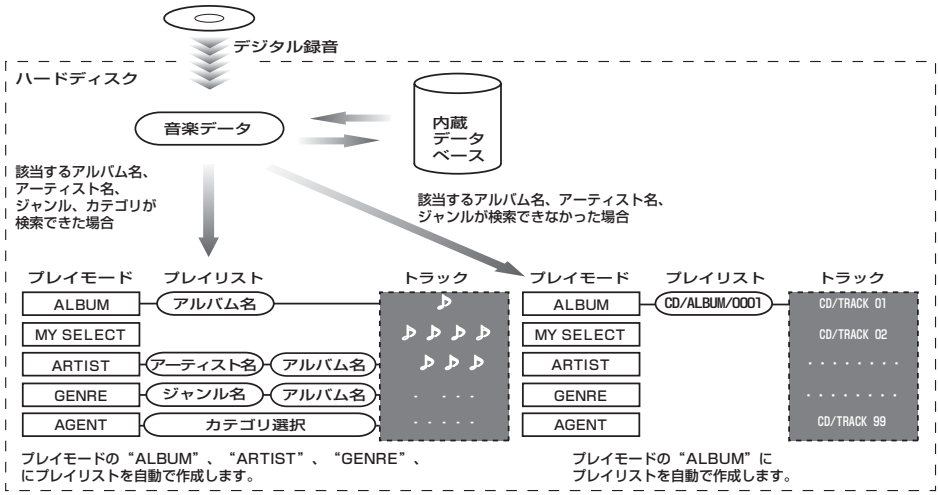
MUSIC RACK をお使いになる前に

オートタイトリング機能について

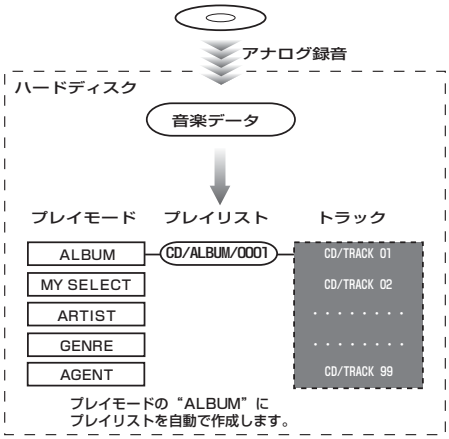
本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※…オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

デジタル録音



アナログ録音



お知らせ

- デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。
  アルバムプレイモード…
  ソース／ALBUM／4桁の番号※
  トラックプレイモード…
  ソース／Track 2桁の番号※
  ※…日付が変わった場合、番号を1から順に付与する。
- 音楽 CD の連続録音時など、データベース検索が完了していない場合、“NO TITLE XXXX”を表示します。“NO TITLE XXXX”の音楽データを再生する際、データベースの検索をおこないます。

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を見ることができます。

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

3 データ管理 にタッチします。

4 バージョン情報 にタッチします。

5 CDDB 、または MCDB にタッチします。

● データベース情報を表示します。

お知らせ

最大60個まで履歴を残すことができます。60個を超える場合、最も古いものから順に削除します。

MUSIC RACK をお使いになる前に

データベースの更新について

本機のデータベース（Gracenote CDDBデータベース、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。
Gracenote CDDBデータベースやメディアクリックデータベースの更新時期やデータの提供については、販売店にご相談ください。

Gracenote CDDBを更新する

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でおこなってください。

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

3 データ管理 にタッチします。

4 更新データの書き込まれた“メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

- CD-R/RWから更新する場合は、更新データが記録されているディスクを選択します。

5 MEMORY STICKでの更新 、または CDでの更新 にタッチします。

- データベースの更新を開始します。
- 更新中画面を表示します。
- 更新中は本機の操作をしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。

6 “メモリースティック”、またはCD-R/RWを本機から取り出します。

7 お車のエンジンを切り、約15秒程度待ちます。

8 再度お車のエンジンをかけ、データベース情報を表示して更新情報が追加されているか確認します。

- **「データベース情報の表示について」**（前ページを参照してください。）

お知らせ

- 更新中は音声がOFFになります。
- 一度付与されたタイトル情報は、Gracenote CDDB データベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動では変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、**「タイトル情報の再取得」**（129 ページ）を参照してください。
- 更新時間はバージョンにより異なります。
- 本機に収録されているタイトル情報のデータベースは、Gracenote　CDDB のデータベース（2005年12月現在）です。

メディアクリックのデータベースを更新する

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

3 データ管理 にタッチします。

4 更新データの書き込まれた“メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

● CD-R/RWから更新する場合は、更新データが記録されているディスクを選択します。

5 MEMORY STICKでの更新 、または CDでの更新 にタッチします。

● データベースの更新を開始します。

お知らせ

本機に収録されているタイトル情報のデータベースは、メディアクリックのデータベース（2005年12月現在）です。

MUSIC RACK をお使いになる前に

タイトル情報の受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」※（エフエム デ タイトル）、および「FM de TITLE Ⅱ」※（エフエム デ タイトル Ⅱ）を受信することができます。受信できる内容と機能は下記になります。

	FM de TITLE	FM de TITLE Ⅱ
受信できる内容	CDタイトル	新譜情報（ジャケット写真）
制限	なし	一部表示期限あり
保存件数	制限なし	制限なし
受信の通知	CD情報インジケータ	新譜情報受信メッセージ および新譜情報インジケータ
機能	音楽CDや音楽データ再生時、 該当するCDタイトルを表示	音楽CDや音楽データ再生時、 該当するジャケット写真を表示

※：「FM de TITLE」、「FM de TITLE Ⅱ」は、FM多重放送を使い、毎週50タイトル（最大）のCD楽曲データベース（CDタイトルや新譜情報）を無料で配信するサービスです。

● FM de TITLEが受信できる放送局については、**「FM de TITLEサービス放送局について」** 174 ページを参照してください。

タイトル情報の受信について

タイトル情報は、**「タイトル情報の受信」**（次ページ）のFM多重チューナー設定をVICSに設定している場合、下記のモードに切り替えると情報を受信できなくなります。

● AMラジオ、FMラジオ（JFN系列を除く）に切り替えた場合
● TVに切り替えた場合
● オーディオOFFの場合

受信したタイトル情報は**「タイトル情報の表示」**（次ページ）で確認することができます。画面には、最大1000個表示することができます。1000個を超える場合は、古いものから自動で削除します。

タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、下記の場合、一時保存できなくなります。

● MUSIC RACKで再生、録音、または編集作業を行った場合
● “メモリースティック”で音楽の再生を行った場合
● 壁紙を書き換えた場合
● “メモリースティック”およびCD-R/RWでデータベースを更新した場合
● ハードディスクに画像データを保存した場合
● 販売店にて書き換え作業を行った場合

ラジオ、TV、CD等のモードに切り替えると、自動でハードディスクへの保存が可能になります。

タイトル情報の受信

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

1 ナビゲーションのメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 FM多重チューナー設定の **CD情報** にタッチします。

● FM de TITLEは一度に配信する情報量が決まっており、一度受信・保存が完了し、次回の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS放送の受信に切り替わります。但し、ACCをONにするたびに、FM de TITLEの放送を受信します。

タイトル情報の表示

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

CDタイトルを表示する

ハードディスクに保存されたCDタイトルを表示します。保存されたCDタイトルの表示が可能になった場合、画面にCD情報インジケータを表示します。

CD情報インジケータ

1 **情報** を押します。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

● タイトルリスト画面を表示します。

お知らせ

- FM de TITLE/FM de TITLE Ⅱで配信されたCD情報や新譜情報は内容を100%保証するものではありません。製造時期や製造場所などにより、情報に違いが生じるため、実際に再生している音楽CDやデータと内容が異なる場合や、表示できない場合があります。
- CD タイトル表示画面で表示される文字数は、アーティスト名、タイトル名、発売日合わせて半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。

次ページに続く

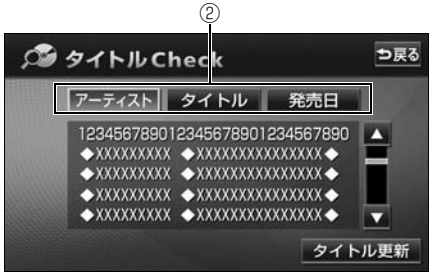
MUSIC RACK をお使いになる前に

3 表示したいタイトルにタッチします。

- CDタイトル表示画面を表示します。
- 1つのタイトルの中に、最大50個のCDタイトルが入っています。

■CDタイトル画面の見方

●タイトルリスト画面



●CDタイトル表示画面

①放送局側が最初に配信した日付
受信した順に、上から新しいタイトルを表示しています。

②CDタイトルの並び替え
CDタイトルを、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。

CD情報インジケータの表示を設定する

CDタイトルの表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。

CDタイトルを受信した場合は、インジケータ( )の表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。

- CDタイトルを受信した場合は 、新譜情報を受信した場合は NEW が表示されます。(新譜情報に関しては次ページを参照してください。)

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 CD情報インジケータの **ON** 、または **OFF** にタッチします。

4 **設定完了** にタッチします。

新譜情報を表示する

ハードディスクに保存された新譜情報（ジャケット写真）を表示します。新譜情報は、情報画面から確認する方法と、新譜情報受信メッセージ画面から確認する方法があります。
画面の見方については前ページを参照ください。

■情報画面から確認する

1 情報 を押します。

2 新譜情報 にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。
- まだ、表示していない新譜情報があると、“New”を表示します。

3 表示したい新譜情報にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。
- １つの新譜情報の中に、最大20個のタイトルリストが入っています。
- 一覧 にタッチすると、配信日別のタイトルリスト画面を表示します。

4 表示したいタイトルにタッチします。

- CDタイトル表示画面を表示します。
- １つのタイトルの中に、最大50個のタイトル情報が入っています。

5 表示したいCDタイトルにタッチします。

- ジャケット表示画面を表示します。（走行中は操作・表示できません。）

MUSIC RACK をお使いになる前に

■新譜情報受信メッセージ画面から確認する

新譜情報を受信、確認が可能になった場合、自動で新譜情報受信メッセージ画面を表示します。

1 **見る** にタッチします。

● 新譜情報リスト画面を表示します。

新譜情報受信メッセージの表示を設定する

新譜情報の表示が可能になったことをお知らせするメッセージ画面の表示ON/OFFを設定することができます。

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 新譜情報受信メッセージの **ON** 、または **OFF** にタッチします。

4 **設定完了** にタッチします。

お知らせ

- 新譜情報（ジャケット写真）には表示できる有効期限（一部）があります。
  有効期限の過ぎた新譜情報は該当する音楽CDを再生しても表示することができません。
  但し、有効期限内に一度 CD を挿入すると、音楽データ再生時、新譜情報を表示することができます。
- 新譜情報（ジャケット写真）の表示サイズは横112×縦112dotです。
- 受信した新譜情報（ジャケット写真）が正式版でない場合や不備があった場合、表示されません。

タイトル情報の更新

「タイトル情報の保存について」（100 ページ）で、保存されなかった場合にタイトル情報を更新することができます。

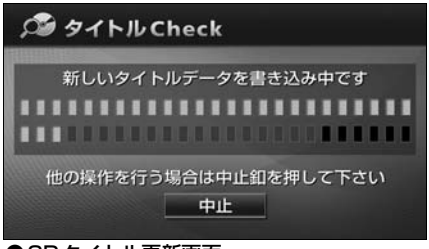
CDタイトルを更新する

1 **情報** を押します。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

3 **タイトル更新** にタッチします。

- CDタイトル更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、タイトルリスト画面にもどります。



●CDタイトル更新画面

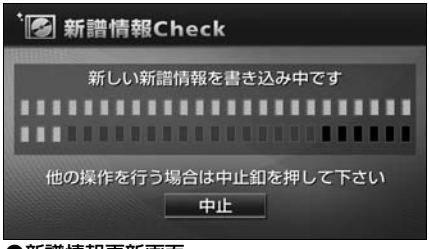
新譜情報を更新する

1 **情報** を押します。

2 **新譜情報** にタッチします。

3 **更新** にタッチします。

- 新譜情報更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、新譜情報リスト画面にもどります。



●新譜情報更新画面

MUSIC RACK をお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。

1 情報 を押します。

2 次ページ ▶ にタッチします。

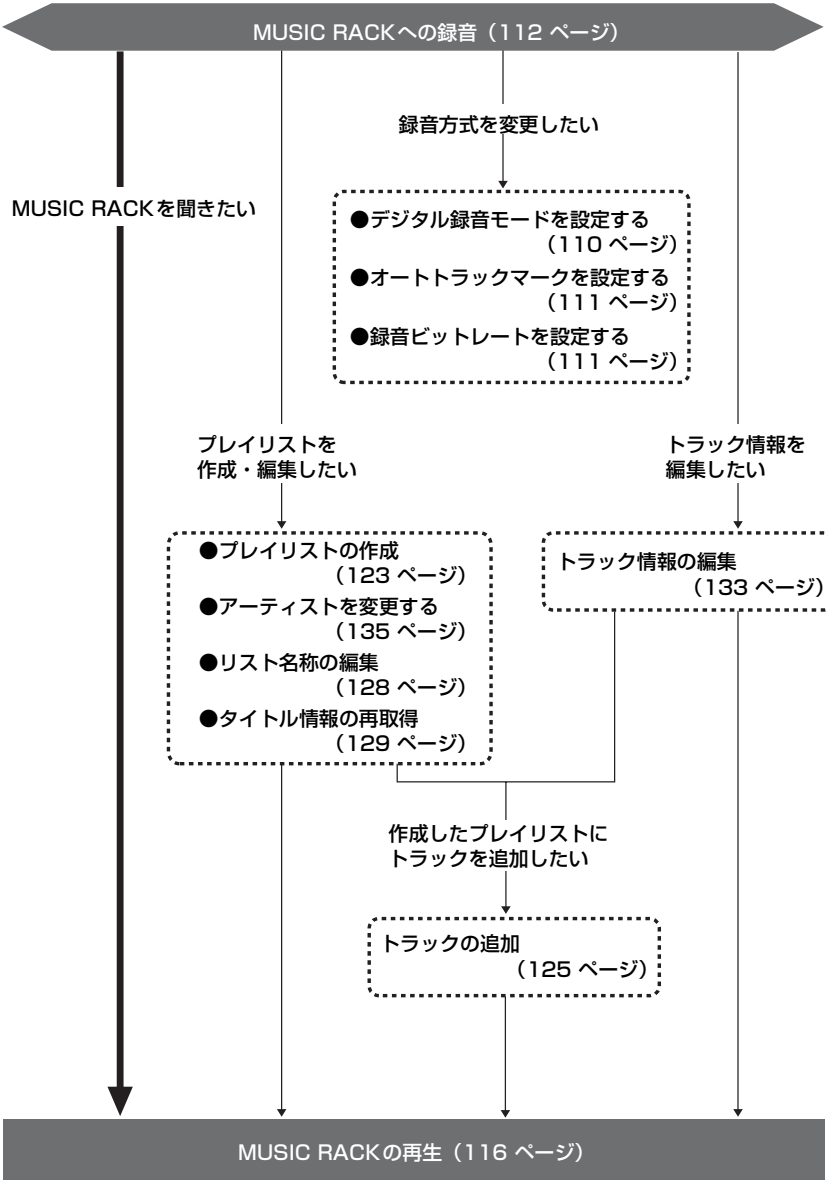
3 データ管理 にタッチします。

4 確認 にタッチします。

● ハードディスクの容量を表示します。

操作の流れについて

MUSIC RACKへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC RACKの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC RACKへの録音

MUSIC RACKへの録音について

- 本機は、内蔵のマルチチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）で放送している・再生している音楽・音声をMUSIC RACKに録音することができます。
- MP3/WMAファイル、“メモリースティック”、DVDから録音することはできません。

録音できるソースと録音方式について

MUSIC RACKは、録音できるソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なソース
デジタル録音（4倍速録音）	マルチチェンジャー（デジタル録音可能なCDのみ）
アナログ録音（等倍速録音）	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、マルチチェンジャー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンI（ACC）の状態で録音している時に、エンジンスタートすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止します。
  - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声が聞こえなくなります。
  - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。
  録音が完了した後、エンジンO（OFF）やソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して出力します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に を表示します。
- 音飛びなどで、再度録音を開始する場合、画面に“Retry”を表示します。

デジタル録音（4倍速録音）について

- 本機のデジタル録音は、通常の速さで再生しながら、4 倍の速さで録音することができます。また、裏録音を行っているため、録音中に他のオーディオに切り替えることができます。詳しくは112 ページを参照してください。
- 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。（ソースのアイコンの表示が替わります）
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、原則として下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
  - ・音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW※
  - ・録音が禁止されている音楽CD※

  ※ RECを押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
  - ・録音中にお車のエンジンをO（OFF）にした場合
  - ・録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。
  - ・エンジンをII（ON）にした場合※1
  - ・CDを挿入した場合※2

  ※1 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
  再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
  エンジンO（OFF）直前に録音中だった場合のみ、エンジンをONにすると録音を開始
  ※2 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
  再生：挿入したCDの最初から再生を開始
- 下記の場合、録音を継続します。
  - ・録音中にソースを切り替えた場合
  - ・録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度DISCメニューから同じCDを選択してください。
- マルチチェンジャーに録音されていない音楽 CD が複数差し込まれている場合、1 枚目の音楽CD（録音されていない音楽CD）から順に録音を開始します。
  - ・ディスク1、ディスク2、ディスク3、ディスク4の順で音楽CDを差し込んだ場合、下記の順で録音します。

    ディスク4→ディスク1→ディスク2→ディスク3
  - ・ディスク1、ディスク2、ディスク3、ディスク4がすでに差し込まれており、ディスク2を再生中に録音を開始した場合、下記の順で録音します。

    ディスク2→ディスク3→ディスク4→ディスク1

アナログ録音（等倍速録音）について

- アナログ録音は、5 時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 REC を押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンをO（OFF）にした場合、録音を中止します。また、録音中、ソースを切り替えると録音は中止されます。

MUSIC RACK への録音

録音方式の設定

MUSIC RACKの録音方式を切り替えることができます。

1 MUSIC RACK 操作画面で **機能** 、**設定** の順にタッチします。

●MUSIC RACK操作画面

● MUSIC RACK設定画面が表示されます。
● MUSIC RACK設定画面から下記の設定を切り替えることができます。

●MUSIC RACK設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のオート、セレクトの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	131

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する **AUTO** 、またはパネルスイッチ（ **REC** ）を押し、録音したいトラック（曲）を選択する **SELECT** に切り替えることができます。

1 MUSIC RACK 操作画面で **機能** 、**設定** の順にタッチします。

2 デジタル録音モードの **AUTO** 、または **SELECT** にタッチします。

● **AUTO** ……CDを差し込むと、自動で録音を開始。

● **SELECT** ……**REC** を1秒以上押し、トラックを選択後、録音を開始。

オートトラックマークを設定する

アナログ録音方式で録音する場合に、トラック（曲など）とトラックの間（区切り位置）を設定します。

1 MUSIC RACK 操作画面で、**機能** 、**設定** の順にタッチします。

2 オートトラックマークの **ON** 、または **OFF** にタッチします。

- **ON** ····· 曲と曲の間にある無音部分を区切り位置として、トラックを設定する。
  CD以外のソースを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** ···· 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。

録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC RACK 操作画面で、**機能** 、**設定** の順にタッチします。

2 録音ビットレートの **132k** 、**105k** 、または **66k** にタッチします。

- デジタル録音時は、132k に固定されます。

お知らせ

オートトラックマークがONの場合でもトラックを分割できないことがあります。

MUSIC RACK への録音

MUSIC RACKへの録音

本機は、マルチチェンジャーからMUSIC RACKへ録音するデジタル録音と、マルチチェンジャー以外のオーディオモードからMUSIC RACKへ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CDの挿入と同時に自動で録音を開始するオート録音と REC スイッチを押して、録音したい曲を選んでから録音を開始するセレクト録音があります。

録音中は“●REC”および録音の進捗バーを表示します。

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	ソース（音声モード）	使用できないスイッチ	
		タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	マルチチェンジャー※1	RPT RAND SCAN DISC RPT DISC RAND DISC SCAN	▶▶| |◀◀
	MUSIC RACK	RPT RAND SCAN PLAYLIST RPT PLAYLIST RAND PLAYLIST SCAN PLAY MODE ※3 AGENT 設定 編集	▶▶| ※4 |◀◀
	マルチチェンジャー以外※2	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、マルチチェンジャー※1、TV、VTR	RPT RAND SCAN DISC RPT DISC RAND DISC SCAN DSP EQ (●) 各プリセットスイッチ エリア AUTO.P ▲ ▼ 8画面 主／副 標準 ワイド1 ワイド2 ワイド3	▶▶| |◀◀

※1 ･･･録音中はDVDの再生ができません。DVDを再生すると、録音を中止します。

※2 ･･･デジタル録音しながら、ソースをラジオやTVに切り替えた場合。

※3 ･･･プレイモードのアルバムは操作可能です。

※4 ･･･現在再生しているプレイリスト内の前曲・次曲の切り替えは可能です。

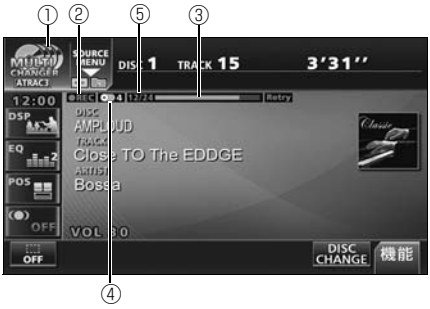
CDを再生しながら自動で録音する

CDを差し込むと、4倍速で録音します。

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、音楽CDが一枚のみ差し込まれている場合は自動で録音を終了します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）
  音楽CDが複数差し込まれている場合、録音されていない音楽CDを順に録音します。再生は自動で切り替わりません。
- 録音を途中で停止する場合は、REC を1秒以上押します。

■録音画面の見方



①SOURCE MENU呼び出しスイッチ
録音中はスイッチの表示が切り替わります。

②RECマーク
録音中に表示されます。

③録音進捗バー
録音の進捗をバーで表示します。

④ディスクNo.
マルチチェンジャーの中で、現在録音されているディスクNo.を表示します。

⑤録音トラック数確認マーク
- デジタルオート録音の場合
  録音が完了したトラック数/音楽CDの全曲数
- デジタルセレクト録音の場合
  録音が完了したトラック数/録音の対象になっている曲数

お知らせ

- 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音（ATRAC3で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- コピー許可されていない　CD-R/RW　や、マルチチェンジャー以外※のソースからMUSIC RACKに録音する場合はアナログ録音となり、手動操作でのみ録音することができます。
  ※ MP3/WMAは録音できません。デジタル録音が禁止されている音楽CDはアナログ録音のみ可能です。
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。REC を押して録音を始めてください。（**「CD の中からお好みのトラック（曲）を録音する」**次ページ参照）
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、**「デジタル録音モードを設定する」**（110ページ参照）で録音モードを SELECT に設定してください。

MUSIC RACK への録音

CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する

お好みのトラック（曲）を選び、録音（4倍速）を開始します。

1 マルチチェンジャーから録音したい音楽CDを選びます。

● マルチチェンジャーの切り替えについては、**「マルチチェンジャーを切り替える」**（42 ページ）を参照してください。

2 CDを再生中、または差し込まれているときに、**REC** を1秒以上押します。

3 録音したいトラックにタッチします。

4 **開始** にタッチします。

● 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で　音楽が出力されます。

● 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）

● 録音を途中で停止する場合は、**REC** を1秒以上押します。

● 録音中は“● REC”および進捗バーを表示します。（前ページ参照）

お知らせ

● 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音（ATRAC3で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
● 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
● すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。
● CDを差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、**「デジタル録音モードを設定する」**（110 ページ参照）で録音モードを **AUTO** に設定してください。

マルチチェンジャー以外のソースから録音する

ラジオ、TV、VTRを再生中、お好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するソースに切り替えます。

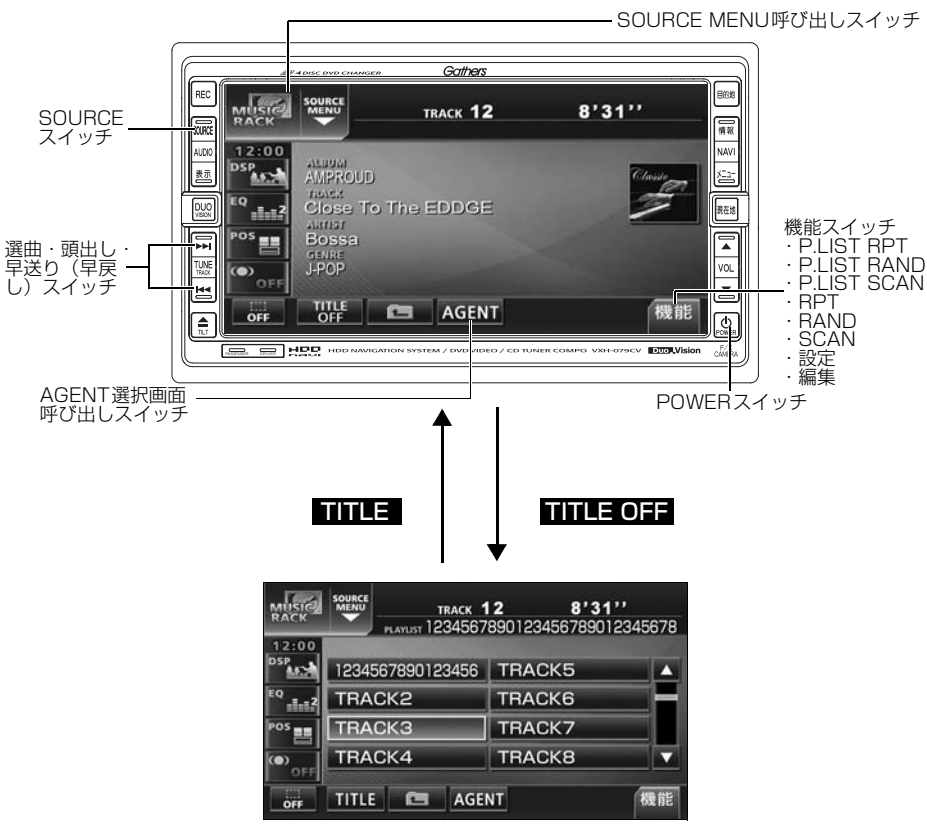
● **「ソースの切り替え方」**（41 ページ）を参照してください。

2 REC を1秒以上押します。

● MUSIC RACKへの録音を開始します。

● 録音を停止する場合は、 REC を1秒以上押します。

MUSIC RACKの使い方



MUSIC RACKを聞く

1 SOURCE を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 MUSIC RACK にタッチします。

- 再生を始めます。
- 前回、MUSIC RACKを再生していた場合は、最後に聞いていたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。

お知らせ

MUSIC RACKに記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。表示文字数は、ジャケット写真の表示・非表示により次のようになります。

- ジャケット写真表示時：半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字
- ジャケット写真非表示時：半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字

表示・再生について

MUSIC RACKに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

● プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
MY SELECT	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
ARTIST	自動で作成したリストをShift-JIS順に表示・再生
GENRE	あらかじめ設定されている順に表示・再生
AGENT	―

● トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
ALBUM	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
MY SELECT	プレイリストに追加した順に表示・再生
ARTIST	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
GENRE	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
AGENT	―

※同じARTIST/GENREの全トラックの再生が終了すると、次のARTIST/GENREに切り替わります。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切替えることができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押してトラックを選びます。

● ▶▶| （上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

トラック切り替えスイッチから選ぶ

1 聞きたいトラックにタッチします。

● 選んだトラックを再生します。

MUSIC RACK の使い方

プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ

1 再生画面で、 にタッチします。

2 PLAY MODE にタッチします。

3 再生したいプレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- PLAY にタッチすると、タッチしたプレイモードに収録されている先頭のプレイリストの一番頭のトラックから再生を開始します。
- アーティストやジャンルのプレイモードを選んだ場合、ALBUM にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。

お知らせ

- 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。
- 9個以上リストがある場合は ▲ ・ ▼ にタッチすると、リストを切り替えることができます。

4 再生したいプレイリストにタッチします。

● ▶PLAY にタッチすると、タッチしたプレイリストの一番先頭のトラックから再生を開始します。

5 TRACK にタッチします。

● 選んだプレイリストに収録されているトラックを一覧で表示します。

6 聞きたいトラックにタッチします。

● 選んだトラックを再生します。

MUSIC RACK の使い方

“AGENT” から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、４つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

MUSIC RACK AGENT機能はあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	～'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00～	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/イベント	テレビ　CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ　ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	ラブソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1 AGENT にタッチします。

● AGENT　のカテゴリ選択画面が表示されます。

2 各カテゴリにタッチします。

● 同じカテゴリ内で､複数の項目にタッチすることはできません。

3 ▶PLAY にタッチします。

● 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。

早送り・早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り・早戻しすることができます。

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで長く押します。

● ▶▶| （上側）：トラック（曲）を進めるとき
|◀◀ （下側）：トラック（曲）を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 SCAN にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST SCAN にタッチします。

● 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されているトラックを始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 PLAYLIST SCAN にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST RPT にタッチします。

● 一度 PLAYLIST RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。
もう一度 PLAYLIST RPT にタッチすると解除されます。

MUSIC RACK の使い方

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- RAND にタッチしたときに聞いていたプレイリスト※内のトラック(曲)をランダムに再生します。プレイリスト※内の全トラック（曲）の再生が終了しても、同じプレイリスト内のトラック（曲）をランダムに再生します。
  ※：選択しているプレイモードがアーティスト/ジャンルの場合は、アルバムリスト（ツリー図Aのaグループ）単位で再生します。

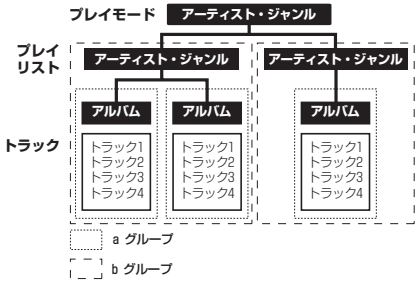
いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

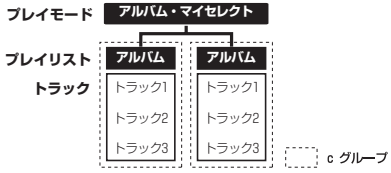
2 PLAYLIST RAND にタッチします。

- 一度 PLAYLIST RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 PLAYLIST RAND にタッチすると解除されます。
- アーティスト･ジャンルプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Aのｂグループ）をランダムに選び、先頭のアルバム､先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Aのｂグループ）をランダムに選び再生します。
- アルバム･マイセレクトプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Bのｃグループ）をランダムに選び、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Bのｃグループ）をランダムに選び再生します。

ツリー図 A



ツリー図 B



トラック（曲）情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

- 再生しているトラックの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり TITLE OFF にタッチするとトラック切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MUSIC JUKEを止める

1 ⏻/POWER を押します。

- もう一度 ⏻/POWER を押すと再生が再開されます。

プレイリストの編集

本機は、MUSIC RACKに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

● 編集中は音楽の再生を一時停止します。

プレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は**「アーティストを変更する」**（135 ページ）を参照してください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。

3 **マイセレクトの編集** にタッチします。

●編集メニュー画面

プレイリスト名を入力する

4 **新規** にタッチします。

5 **タイトル** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。

次ページに続く

プレイリストの編集

6 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（126 ページ）を参照してください。

7 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。

● トラック追加画面を表示します。

作成したプレイリストにトラックを追加する

■トラック追加画面の見方

● 現在選ばれているプレイリスト内のトラックを追加する場合は、 12 の操作以降をおこないます。

8 PLAY MODE にタッチします。

9 追加したいプレイモードにタッチします。

● プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。

10 追加したいプレイリストにタッチします。

● プレイリストに収録されているトラックを表示します。

次ページに続く

プレイリストの編集

11 収録したいトラックにタッチします。

● [戻る] にタッチすると、**10** の画面にもどります。

12 追加 にタッチします。

● 選んだトラックをプレイリストの一番最後に追加します。

● **削除** にタッチすると、プレイリストに追加したトラックを削除することができます。

13 **完了** にタッチします。

● **4** の画面にもどります。

プレイリストの名称入力

1 **タイトル** にタッチします。

2 文字を１文字ずつタッチして入力します。

● ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英字**、**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

● カナ入力、英字入力、数・記号入力については**「カナ、英字、数・記号の入力」**（次ページ）を参照してください。

● 間違えた（または入力されている）ときは**クリア**にタッチすると、１つずつ消去されます

お知らせ

● 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
● 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
● 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

3 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換** にタッチします。

4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

● 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。

5 **完了** にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ** 、**英字** 、**数・記号** にタッチします。

2 **半角** （または **全角** ）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

● **▲前** **▼次** が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。

3 文字を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えた（または入力されている）ときは **クリア** にタッチすると、１つずつ消去されます。

4 **完了** にタッチします。

お知らせ

入力することができる文字数は最大16文字（半角文字は32文字）までです。

プレイリストの編集

リスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。

3 名称編集 にタッチします。

4 プレイリストの編集 にタッチします。

5 ALBUM 、または MY SELECT にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。

7 タイトル にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。

8 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（126 ページ）を参照してください。

9 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。

ジャケット写真の表示を設定する

音楽CDやトラック（曲）を再生するときに該当するジャケット写真を表示します。

1 ジャケット写真の表示の **ON** 、または **OFF** にタッチします。

- **OFF** にタッチすると、音楽CD再生中もジャケット写真は表示されません。
- 有効期限が切れたジャケット写真は表示されません。

タイトル情報の再取得

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。

3 **名称編集** にタッチします。

お知らせ

ジャケット写真の表示設定は、アルバムプレイモードを選択しているときのみ操作することができます。

プレイリストの編集

4 プレイリストの編集 にタッチします。

5 ALBUM にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。

7 タイトル取得 にタッチします。

● 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。

■複数のタイトル情報が存在する場合

8 該当するタイトルにタッチします。

● 最大１０タイトルまで表示します。

● 戻る にタッチすると、タイトルを取得せず、直前の画面にもどります。

● 情報 にタッチすると、タイトルに含まれているトラック（曲）タイトルを一覧で表示します。確認後、決定 にタッチすると、タイトル情報を取得し、7 の画面にもどります。

お知らせ

● NO TITLE XXXXの音楽データは初回再生時、自動でデータベースを検索し、該当する情報を付与します。（2回目以降は、再生時、自動で検索しません。）

● NO TITLE XXXXの音楽データでタイトル取得操作を行い、情報が無いため、NO TITLE XXXX のまま 決定 にタッチすると、次回再生時、自動でデータベースの検索を行いません。

プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

● プレイリストは、MUSIC RACK設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、**「作成した順番に並び替える」**（下記）の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

1 MUSIC RACK操作画面で、 にタッチします。

2 **PLAY MODE** にタッチします。

3 選びたいプレイモードにタッチします。

4 選びたいプレイリストにタッチします。

5 **▶PLAY** にタッチします。

● 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストがリストの上段にきます。

作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成（録音）した順番に戻すことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

● MUSIC RACK設定画面が表示されます。

3 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

● 作成（録音）した順番にプレイリストを並び替えます。

プレイリストの編集

プレイリストの削除

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
ALBUM	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
MY SELECT	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。

3 削除 にタッチします。

4 プレイリストの削除 にタッチします。

5 ALBUM 、または MY SELECT にタッチします。

6 プレイリストにタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。

7 はい にタッチします。

お知らせ

アーティストおよびジャンルのプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

● 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。

3 名称編集 にタッチします。

4 トラックの編集 にタッチします。

5 プレイモードを選びます。

6 編集したいプレイリストにタッチします。

● ARTIST 、GENRE にタッチすると、アルバム名一覧を表示します。

お知らせ

AGENTのカテゴリを変更することはできません。

次ページに続く

トラックの編集

7 編集したいトラックにタッチします。

トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。

● 文字入力画面が表示されます。

●トラック編集画面

2 タイトルを入力します。

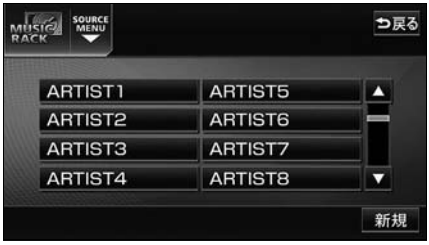
● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（126 ページ）を参照してください。

アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

● 登録アーティスト一覧画面が表示されます。

2 選びたいアーティスト名にタッチします。



● **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（126 ページ）を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。

2 ジャンルにタッチします。

● **OTHER** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。

3 **完了** にタッチします。

お知らせ

▲ ・ ▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの編集

トラックの削除

録音したトラックを削除することができます。
選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、削除されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	削除されるデータ
マイセレクト内のプレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を削除します。トラック（曲データ）は削除されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の残り１つのトラック	選択したプレイリストは削除されます。トラック（曲データ）は削除されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
マイセレクト以外のプレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を削除します。 他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の残り１つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を削除します。 他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。

3 **削除** にタッチします。

4 **トラックの削除** にタッチします。

5 プレイモードにタッチして、編集したいモードに切替えます。

● **ARTIST** 、**GENRE** にタッチすると、アーティスト名、ジャンル名一覧を表示します。

6 プレイリストを選びます。

7 トラックにタッチします。

8 **削除** にタッチします。

● 削除確認画面が表示されます。

9 **はい** にタッチします。

お知らせ

● 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
● 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

TVの使い方

エンジンスイッチがII（ON）、またはI（ACC）で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0 km/h）した場合のみTVをご覧になることができます。（走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。）

TVを見る

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 TV にタッチします。

- TV画面になります。
- 表示 を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 ▶▶| 、|◀◀ を押す、または ▲ 、▼ にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。
  - ▶▶| ▲ （上側）：チャンネルUP(大きくなる)
  - |◀◀ ▼ （下側）：チャンネル DOWN(小さくなる)

お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でTVをご覧になることができます。
- TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
  表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

自動で選ぶ

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押す、または ▲ 、▼ に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は**「チャンネルを記憶する」**下記を参照してください。

2 決定 にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- “AUTO.P”が表示されているときは AUTO.P にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは 機能 にタッチして エリア （141 ページ参照）にタッチすると、AUTO.P または AREA.P からマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。 プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し自動的に選局を始めます。“ピピッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度、AUTO.P にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

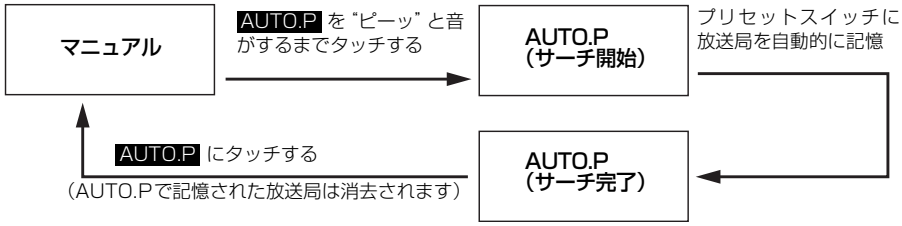
お知らせ

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TV の使い方

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。
AUTO.P動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



マルチチャンネルビューを表示する

プリセットされている放送局を同時に最大8画面に分割して表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、お好みの番組を選ぶことができます。

1 8画面 にタッチします。

- プリセットしている番組を順に受信して、並べて（最大8 画面）表示します。
- 戻る にタッチすると1 画面にもどります。
- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- ○○○（放送局）にタッチすると全画面になります。

お知らせ

- 8画面 にタッチしてからプリセットしている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声が聞こえます。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
  - ・エリアプリセット
  - ・音声多重放送の切り替え
  - ・画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP 、EQ 、POS などの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

TV

お知らせ

TV 設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV 画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

TV の使い方

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

● 重複した放送局名が切り替わります。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主/副音声
MAIN　　SUB　　MAIN/SUB

お知らせ

- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、二 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

TVモードを終わる

1 ⏻/POWER を押します。

● もう一度 ⏻/POWER を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。

お知らせ

● 本機のTVは、地上アナログ放送の受信ができます。地上デジタル放送の受信はできません。
＜地上デジタル放送とは＞
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

● 地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。
そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
● 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
● 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。
また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
● チャンネルと放送局名が一致しない。
● プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
● プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。
このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。
これらの場合は、AUTO.P スイッチ（139ページ参照）や選局スイッチ（138 ページ参照）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。

街の中心を流れるこの川は...

This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

映像のアングルが切り替わります。

⚠注　意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
DVD VIDEO	12cm／片面　1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 133分 242分
DVD VIDEO	12cm／両面　1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

お知らせ

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

ディスクに表示されているマークについて

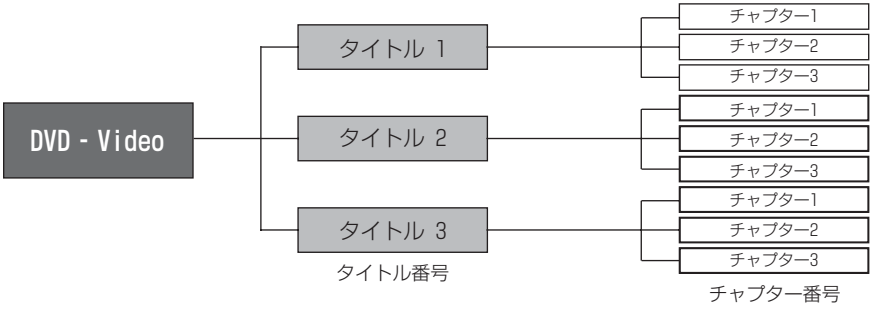
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

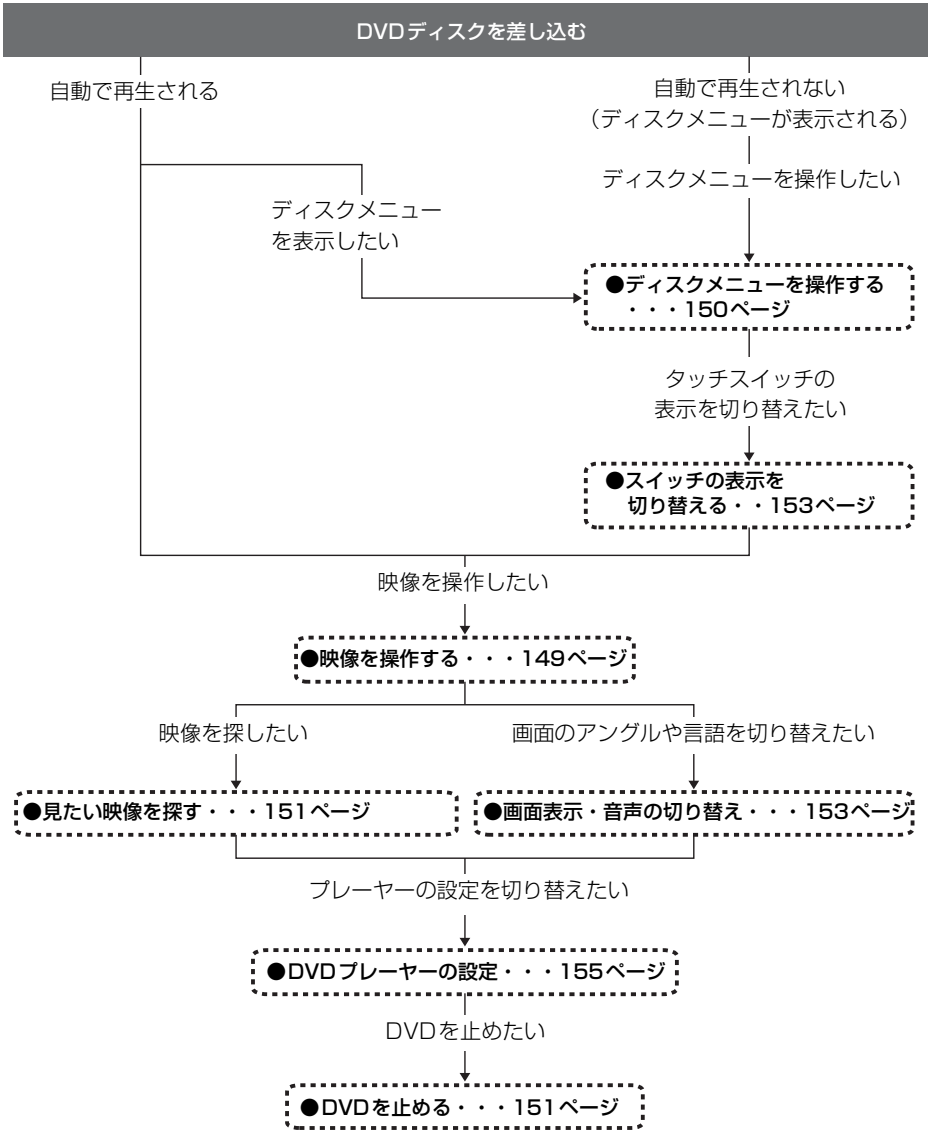
DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがII（ON）、またはI（ACC）で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0 km/h）した場合のみDVDをご覧になることができます。（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。）

DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE** を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 **MULTI CHANGER** にタッチします。

- 前回、マルチチェンジャーで最後に再生されていたディスクが再生されます。

3 **DISC CHANGE** にタッチします。

4 DVDにタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、**表示** を押す、または画面にタッチします。

お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。
- DVDプレーヤーモードに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**表示** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

映像を操作する

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。

早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ▶▶| 、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▶▶| （上側）：映像を進めるとき
  |◀◀ （下側）：映像を戻すとき
  “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ◀◀ 、または ▶▶ にタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

いま見ているチャプターを繰り返し再生する

1 CHAPTERリピート にタッチします。

映像を一時止める

1 ❚❚ にタッチします。

- 一時停止中（ ❚❚ ）に ▶▶ を短くタッチするとスロー再生し、❚❚ にタッチするとコマ送り再生します。

お知らせ

ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」**（150 ページ）

DVD プレーヤーの使い方

映像を止める

1 ■ にタッチします。

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

ダイレクトタッチ操作画面から操作する

ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示される場合は、メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 メニューのアイコンにタッチします。

タッチスイッチから操作する

ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示されない場合は、次の方法でディスクメニューを表示させることができます。

1 NEXT にタッチします。

2 メニュー 、または トップメニュー にタッチします。

● ダイレクト にタッチするとダイレクトタッチ操作をすることができます。

3 ✣ にタッチします。

4 ↓ ↑ ← → にタッチし、メニューを選びます。

● ダイレクト にタッチするとダイレクトタッチ操作をすることができます。

お知らせ

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。
- ディスクによって、表示されるメニューをダイレクト操作画面から操作できない場合があります。

5 決定 にタッチします。

DVDを止める

1 /POWER を押します。

● もう一度 /POWER を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：次のチャプターを選ぶとき
|◀◀（下側）：頭出し・前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号

タイトル番号から探す

1 サーチ にタッチします。

● タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号

2 − 、＋ 、−10 、＋10 にタッチし、タイトル番号を入力します。

● − 、または ＋ にタッチすると、タイトル番号が１ずつ切り替わります。

● −10 、または ＋10 にタッチすると、タイトル番号が１０ずつ切り替わります。

3 決定 にタッチします。

お知らせ

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVD プレーヤーの使い方

チャプター番号から探す

1 NEXT にタッチします。

2 ✣ にタッチします。

3 数字 にタッチします。

● メニュー番号入力画面が表示されます。

4 − 、＋ 、−10 、＋10 にタッチし、メニュー番号を入力します。

● − 、または ＋ にタッチすると、メニュー番号が１ずつ切り替わります。

● −10 、または ＋10 にタッチすると、メニュー番号が１０ずつ切り替わります。

5 決定 にタッチします。

スイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 OFF にタッチします。

● 表示 を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。

タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 NEXT にタッチします。

2 ✣ にタッチします。

3 移動 にタッチします。

● タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 マルチアングルマークが表示されているときに アングル にタッチします。

● アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク

3 アングル切換 にタッチします。

● アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号

お知らせ

アングル切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

DVD プレーヤーの使い方

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 字幕 にタッチします。

● 字幕番号および言語が表示されます。

3 字幕切換 にタッチします。

● 字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 音声 にタッチします。

● 音声番号および言語が表示されます。

3 音声切換 にタッチします。

● 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

お知らせ

- 字幕切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- 音声切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 設定 にタッチします。

3 初期設定 にタッチします。

● 初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。

タッチスイッチ	機　能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	157
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	157
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	158
映像出力切換	画面サイズを設定します。	159

お知らせ

初期設定画面で設定を変更した後、決定 にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（ SOURCE 、表示 ）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。
再度再生する場合は映像操作画面で ▶ にタッチします。（149 ページ参照）

DVD プレーヤーの使い方

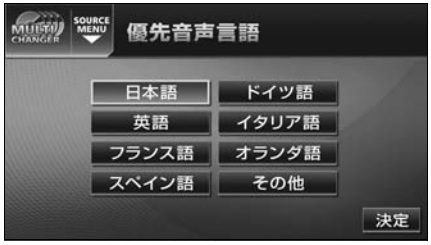
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（160 ページ）を参照してください。

3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

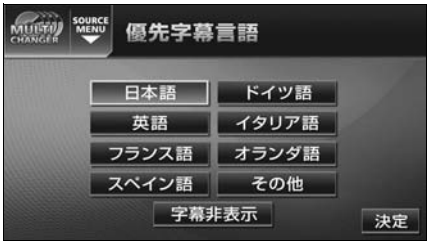
再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

● **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（160 ページ）を参照してください。

3 **決定** にタッチします。

お知らせ

● 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
● 優先言語を設定しても、ディスクにより有効にならない場合があります。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（160 ページ）を参照してください。

3 **決定** にタッチします。

マルチアングル（アングル選択マーク）の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。

2 **決定** にタッチします。

お知らせ

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

DVD プレーヤーの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を１番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。

5 **決定** にタッチします。

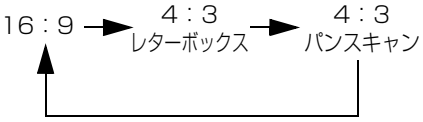
お知らせ

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「－－－－」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく３種類に分類されます。
  レベル１　……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  レベル２～７…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
  レベル８　……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

● タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

● **「16：9」**
通常のワイドサイズで表示されます。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● **「4：3〔レターボックス〕」**
上下両端が黒く表示された映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

● **「4：3〔パンスキャン〕」**
左右両端がカットされた映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

お知らせ

リア席モニターなど別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で映像出力を切り替えてもリア席モニターで表示される画面サイズは切り替わりません。

⚠注　意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVD プレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

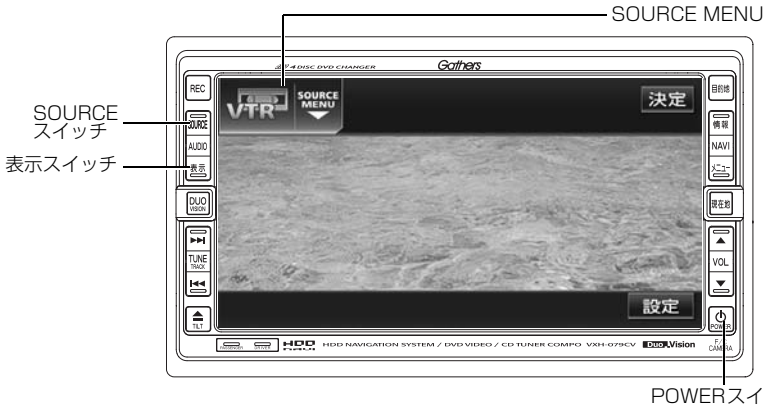
コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがII（ON）、またはI（ACC）で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0 km/h）した場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。）VTR機器を接続する場合は、販売店で「VTRコード」をお買い求めください。



VTRを見る

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 VTR にタッチします。

- VTR画面になります。
- 表示 を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え

1 設定 にタッチします。

- 戻る にタッチするとVTR操作画面にもどります。

VTRモードを終わる

1 ⏻/POWER を押します。

- もう一度 ⏻/POWER を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
  表示 を押すと再度、表示します。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
チェンジャー動作にともない録音を停止します	録音中にディスクの差し込み、取り出し操作を行ったため。	録音中にディスクの差し込み、取り出し操作を行う場合は、REC を1秒以上押して、録音を停止してから行ってください。
CDDB（タイトル）検索中です 再生までしばらくお待ちください	複数の音楽CDを録音した後、CDDB未検索だったタイトルを取得するため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
ディスク判別中です しばらくお待ちください	一度に複数のディスクを、マルチチェンジャーに差し込んだため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
ディスクをお確かめください ○○枚目のディスクをお確かめ下さい	ディスクが傷ついている、または裏返しになっているため。	ディスクが傷ついているときは他のディスクを入れてください。裏返しのときは正しく入れてください。
	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でマルチチェンジャーまたはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
メモリースティックエラーです	なんらかの原因で“メモリースティック”が読み込めないため。	MEMORY STICKをお確かめください。
メモリースティックがロックされています	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチがLOCK状態になっているため。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチをLOCKから解除にしてください。
メモリースティックの容量がありません	“メモリースティック”の容量が不足しているため。	容量に余裕のある“メモリースティック”をお使いください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
このMEMORY STICKには対応していません	対応していない MEMORY STICKを挿入したため。	本機で使用できるMEMORY STICKを確認してください。(39 ページ参照)
MEMORY STICKが入っていません	マジックゲートMEMORY STICKが入っていないため。	マジックゲートMEMORY STICKを入れてください。
再生可能なファイルがありません	マジックゲートMEMORY STICK内に、再生可能な音楽データが記録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているマジックゲートMEMORY STICKを入れてください。
MEMORY STICK認証中	MEMORY STICKの認証を処理しているため。	MEMORY STICKの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
MEMORY STICKをお確かめ下さい	静電気により、MEMORY STICKが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
このMEMORY STICKからHDDへ保存できません	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で使用できるMEMORY STICKを確認してください。(39 ページ参照)
再生可能なファイルがありません	再生可能な音楽データが入っていないMEMORY STICKを挿入したため。	MEMORY STICKに録音されている音楽データを確認してください。
録音中はMEMORY STICKモードへ移行できません	録音中にMEMORY STICKモードに切り替えようとしたため。	録音を中止してからMEMORY STICKモードに切り替えてください。(113、114、115ページ参照)
期間・回数に制限があるため、再生できません	再生制限付きのデータを制限を越えて再生しようとしたため。	再度、データを入手してから再生してください。
音楽データがありません	MUSIC RACKに何も録音されていないときに、MUSIC RACKモードに切り替えようとしたため。	MUSIC RACKに録音してからMUSIC RACKモードに切り替えてください。(112ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(132、136ページ参照)
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(132、136ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を中止します	アナログ録音時、連続録音時間が300 分に達したため。	再度、REC を1秒以上押して録音を続けてください。
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	デジタル録音開始後、1曲も録音完了せずに終了したため。	再度、録音する場合は、REC を1秒以上押してください。
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまで、しばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに操作した場合、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITLEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したCD情報がないため。	CD情報インジケータが表示されるまでお待ちください。
受信した新譜情報がありません	FM de TITLE Ⅱで受信した新譜情報がないため、またはHDDに保存した新譜情報がないため。	新譜情報受信メッセージが表示されるまでお待ちください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
ジャケット写真を表示できませんでした	ジャケット写真を表示する有効期限が切れているため。	有効期限の切れたジャケット写真は表示することができません。
	受信した新譜情報に不備があるため。	受信した新譜情報に不備がある場合、ジャケット写真を表示できません。ご了承ください。
更新するデータベースはありません	受信したCDタイトルや新譜情報が1つも存在しないときに、**タイトル更新** や **更新** にタッチしたため。	FM多重チューナー設定が「CD情報」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	**REC** を1秒以上押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC RACK内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。（132ページ参照）
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC RACK内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。（136ページ参照）
プレイリストが一杯です	MUSIC RACK内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。（123、132ページ参照）
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。（136ページ参照）
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。（113、114、115ページ参照）
異常検知でMUSIC RACK停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンをOFF（O）にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
MUSIC RACK準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	MUSIC RACKモードに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンをOFF（O）にし、再度車のエンジンをON（IまたはII）にしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
高温のため、録音を停止します ※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のため、録音を停止します ※	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオOFF します	MEMORY STICKモード、またはMUSIC RACKモードのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオモードを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認下さい	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(57ページ参照)
画像を表示できません 容量がオーバーしています	画像の容量が大きすぎるため。	1.5MB以下の画像ファイルとしてください。(57ページ参照)
画像を表示できません データをご確認下さい	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(57ページ参照)
カスタム画像がありません カスタムの変更から画像の登録ができます	カスタム画像とする画像データが登録されていないため。	カスタムに画像を登録してください。(55ページ参照)
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(57 ページ参照)
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
低温のためHDD停止中です ※1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
再生できるディスクが入っていません	再生可能なディスクがスロットに入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でDVD 停止中です ※2	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※1	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。 （36、145 ページ参照）
受け付けないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※1　この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※2　イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症　状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
	すでに4枚入っていて5枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDを入れてCLOSEボタンを押したが、ディスプレイがクローズしない	CD・DVDの挿入が完了する前にCLOSEボタンを押した。	挟み込み防止のため、CLOSEボタンは反応しますが、機能しません。再度CLOSEボタンを押してください。また、この場合オートクローズ機能はキャンセルされています。
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（36ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。 （37ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。（36ページ参照）
	自動再生されないDVD ディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。 （150ページ参照）
CD・DVD挿入後、自動再生しない	ナビ操作等の負荷によりCDDB検索に時間がかかる場合があります。	しばらくそのままでお待ちください。自動再生・録音が開始されます。
MEMORY STICKの再生ができない	対応していないMEMORY STICKが挿入されている。	対応しているMEMORY STICKを挿入してください。 （39ページ参照）

知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処置
CDを再生しても、自動で録音されない	デジタル録音モードが“SELECT”に設定されている。	デジタル録音モードを“AUTO”に設定してください。（110ページ参照）
	MP3/WMAを再生している。	MP3/WMAは録音できません。
アナログ録音を開始したが録音されていない。オーディオ画面上は録音モードであった	エンジン始動直後に録音を開始した。	地図画面表示後、10秒程度待ってから録音を開始すると正常に録音出来ます。 録音開始の案内表示）が表示された場合でも、**“●REC”**表示が表示されていない場合は、録音が正常に行なわれていませんので、一度、録音を解除してから、再度録音を開始してください。
ATRAC3モード中のプレイ時間（表示）が消えたり、止まることがある	録音のトラックが切り替わった時など、HDDでの処理負荷が大きくなるため。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（録音は正常に行なわれています）
録音中にディスク名、タイトル名、アーティスト名が表示されない	ナビ内部のCDDBにヒットしない。または、2つ以上のCDDBにヒットした。 ・ CDDBにヒットする場合でも以下の場合は表示処理に時間を要するため、表示出来ない場合があります。 ・ ディスク挿入時 又は ディスク切換え後の1曲目を再生（録音も含む）する時 ・ 電源投入後（ACC OFF/ON）に最初に再生する曲 ・ モード切替時に最初に再生する曲	CDDBにヒットしない場合でも、CD-TEXT付きのCDでは、マルチチェンジャーモードで再生中に情報を表示することが出来ます。 録音中、ATRAC3モードでの再生中、ミュージックラックでの再生中は、CD-TEXTの情報は表示されません。
プレイ時間（表示）が点滅して表示される。場合によっては、数秒飛ばして表示される	以下の場合は、HDDでの処理負荷が大きくなるため。 ・ デジタル録音開始直後の1曲目（短い場合は特に）再生時。 ・ 各トラックの録音終了／開始時の録音インジケータバーが伸びる前後。 ・ REC釦押しによる録音解除、又は全トラック録音完了した時。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
アーティスト名などが表示されない	第3水準の漢字が含まれる情報。	第3水準以外の漢字をご使用ください。
自動録音開始直後、音声が一瞬止まった 録音中に音が飛ぶことがある	録音開始直後 又は 録音トラック切り替え時は、再生処理に時間を要するため、録音中に音声が一瞬途切れる場合があります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（録音は正常に行なわれています）
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	**現在地** を押してください。（64ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない（停車中）	車両が停止（車両速度が0km/h）していない。	車両を完全に停止（車両速度が0km/h）してください。

症　状	考えられること	処置
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込む画像のファイル形式は適切ですか。	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。（57ページ参照）
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

用語説明

スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

●シングルレイヤーディスク
　HD層※が１層のみのディスク
●デュアルレイヤーディスク
　HD層※が２層のみのディスク
●ハイブリッドレイヤーディスク
　HD層※とCD層※合わさった２層のディスク
※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
　CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第１セッションには音楽データトラックを記録し、第２セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第２セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第１トラックにはPCデータトラックを記録し、第２トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第１トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第１セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer Ⅲ の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約１／10のサイズにすることができます。

ID3タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ
WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

ATRAC3（アトラックスリー）
「Adaptive Transform Acoustic Coding3 」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができるので、1 枚のCDに複数の音楽を録音することができます。

“メモリースティック”
小型、軽量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

“マジックゲートメモリースティック”
著作権保護技術“Magic Gate （マジックゲート）”を搭載した“メモリースティック”の名称で、音楽など、著作権保護技術が必要なデータの記録・再生を行うためのIC記録メディアです。対応機器とメディアの間で、お互いが、著作権保護に対応しているかどうかの判断を行い、対応していると認証された機器のみで再生することができます。

SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）
デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。

用語説明

gracenote CDDB

CDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenote ロゴ及びロゴタイプ、
Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。
音楽認識技術及び関連データは、Gracenote 及びthe Gracenote CDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧下さい。

コピーコントロールCD
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
コピーコントロールCD 、レーベルゲートCD には下記のマークが付与されています。
ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

セッション

CD- R 、CD- RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

Gracenote CDDBのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、バークレー市の Gracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data 、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべての Gracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote Componentまたはいかなる Gracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。
Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

FM de TITLEサービス放送局について

FM de TITLEが受信できる放送局（2004年9月現在）

放送局名	愛称	放送局名	愛称
FM北海道	air-G	FM滋賀	E-Radio
FM青森	AFB	fm osaka	EASY851
FM岩手	FMI	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM Kobe
FM秋田	Co-Much FM	FM山陰	V-air
FM山形	BOY-FM	FM岡山	―
FM仙台	Date-FM	広島FM放送	―
ふくしまFM	―	FM山口	FMY
FM栃木	レディオ・ベリー	FM香川	―
FMぐんま	―	FM徳島	Passion Wave
TOKYO FM	TOKYO-FM・TFM	FM高知	Hi-Six
K-MIX	K-MIX	FM愛媛	―
FM AICHI	FMA	FM福岡	BEAT STATION
FM三重	―	FM佐賀	―
岐阜FM	レディオ エイティ	FM長崎	SMILE-FM
FM新潟	―	FM中九州	FMK
FM長野	―	FM大分	Air radio FM88
FMとやま	―	FM宮崎	JOY-FM
FM石川	HelloFive	FM鹿児島	μFM
FM福井	―	FM沖縄	―

MEMO

MEMO

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号
製造元　富士通テン株式会社　〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

PART NO. 08A40-9J0-4000-8B
090002-29380700 0604C（N）